

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



仕様及び外観は、改良の為に予告なく変更する場合があります。
本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
本製品は国内専用です。

ALPINE

アルパイン株式会社 〒141-8501 東京都品川区西五反田1丁目1番8号
お問い合わせはインフォメーションセンターへ
TEL: 03-3779-0711 FAX: 03-3494-1767
電話は混雑が予想されます。問い合わせは、なるべく書面（FAXまたはハガキ等）をご利用ください。
電話受付時間 9:30~17:30（平日の12:00~13:30と土日、祝祭日は除く）
FAXは、24時間受付けております。
Designed by ALPINE Japan Printed in Japan (Y) 68P11646Y41-B

ALPINE[®]

FVA-W306

AV/MD/CD/DSPヘッドユニット

取扱説明書

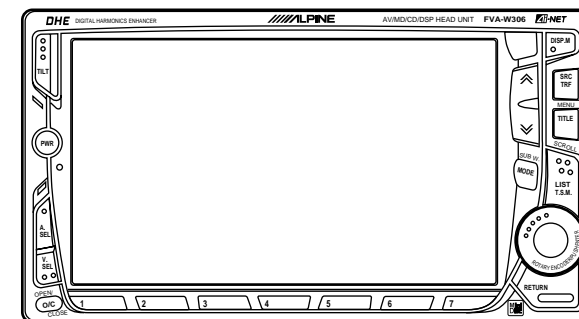
検索には各ページ上部角のアイコンをお使いになると便利です。

⚠	安全にお使いいただくために	2
🖱	目次と基本操作	6
📀	CDを聴く	13
💿	MDを聴く	20
📻	ラジオを聴く	26
📺 / 📶	TV/NAV.	34
📊 / 📶	イコライザー/サラウンドの操作	45
DHE / 📶	D.H.E./L.P.S.の操作	52
💡	便利な機能	58
📶	リモコンで操作する	75

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

Mini
Disc

DHE
4i-NET



このたびは、お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お使いになる前に説明書をよくお読みのうえ、理解してからお使いください。
お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。
本書の一部または全部を無断で転載しないでください。





安全にお使いいただくために、必ずお守りください

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。







この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。		一般的な禁止の通告をします。 分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		
 Memo	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示します。		

本機は国内専用です。規格の違う外国では使用できません。

本機のお手入れは、乾いた布が堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナー類は、ケースが変質／変形しますので絶対に使わないでください。

夏期など車内の温度が高いときは、車内の温度を下げてから使用してください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください



警告

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



小物類は幼児の手の届かないところに保管する
小物類 電池・ネジなどは幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は容量を守る

ヒューズ交換は、必ず規定容量(アンペア数)を守ってください。規定容量以上を使用すると、火災の原因となります。



異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる
音や画面が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。



運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



安全にお使いいただくために



安全にお使いいただくために、必ずお守りください

⚠ 注意

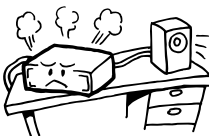
音量を上げすぎない

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。



車以外には使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



新旧の電池を混ぜない

極性を間違えないように挿入する

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定していない電池を使用しないでください。また、挿入する際は極性 < + ・ - > に注意し指示通りに入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。



挿入口やすき間には異物を入れない

マガジンやディスクの挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや故障の原因となることがあります。



運転の妨げになる操作は停車させてから行う

可動ディスプレイの開閉やディスクの出し入れ操作が運転(シフトレバー操作など)の妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。



安全にお使いいただくために、必ずお守りください



取り扱い上のご注意

本機では、<音楽ディスク>マークがついたものをお使いください。



CD-R(CD-Recordable)/ CD-RW(CD-ReWritable)には対応していません。

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

取り扱い上のご注意(CD)

「ディスクの取り扱い」(78ページ)も合わせてご覧ください。

コンパクトディスク(CD)の取り扱い

次の点を守ってお使いください。盤面にさわらない/ 直射日光下に置かない/ ラベルを貼ったり文字を書いたりしない/ ホコリやごみが付いたら拭きとる。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付く誤動作の原因になります。このようなときは、1時間ほどディスクを取り出しておくで正常に動作します。

新品のディスクを聴くときは

ディスクの側面やセンターホール面に突起箇所(バリ)があるとイジェクトされます。

このような場合は、ボールペンなどで外側の縁をなぞって突起箇所を取り除いてください。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行しているときに音飛びを起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。

特殊な形状のディスクは使わない

必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

取り扱い上のご注意(MD)

ミニディスクについて(79ページ)も合わせてご覧ください。

ミニディスク(MD)の取り扱い

次の点を守ってお使いください。シャッターを開けない/ 内部にさわらない/ 直射日光下に置かない/ ラベルは正しい位置に一枚だけしっかり貼る/ ホコリやごみが付いたら拭きとる。

結露にご注意

寒い車内を急に暖めると、信号読み取り装置のレンズに露が付く誤動作の原因になります。このようなときは、一時間ほどミニディスクを取り出しておくで正常に動作します。

音飛びについて

路面状況の悪いところを走行していると「音飛び」を起こすことがあります。プレーヤーには影響ありません。

安全にお使いいただくために

目次



安全にお使いいただくために

警告/注意	2
目次	6



基本操作

簡単操作ガイド	8
リセットする	10
電源のON/OFF	10
画面を見やすい角度に調整する	11
可動ディスプレイの開閉	11
音量/バランス/フェーダーの調整	12



CDを聴く

CD/CDチェンジャー、MD/MD チェンジャーディスプレイ表示について	13
ディスクを入れる	14
ディスクを取り出す	14
演奏する	15
曲の早送り/早戻しをする	16
曲の頭出しをする(ミュージック・センサー)	16
繰り返し聴く(リピート演奏)	17
曲順を変えて聴く M.I.X.	17
6/12連奏CDチェンジャー(オプション) の操作	18
ディスク・タイトル・リストを表示する	19



MDを聴く

演奏する	20
曲の頭出しをする(ミュージック・センサー)	21
曲の早送り/早戻しをする	21
繰り返し聴く(リピート演奏)	22
曲順を変えて聴く M.I.X.	22
タイトルを表示する/スクロールする	23
6連奏MDチェンジャー(オプション)の操作	24
トラック・タイトル・リストを表示する/ ディスク・タイトル・リストを表示する	25



ラジオを聴く

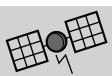
ラジオ、TVディスプレイ表示について	26
周波数で放送局を選ぶ(マニュアル)	27
自動的に放送局を選ぶ SEEK	28
放送局を記憶する(プリセット・メモリー)	29
自動的に放送局を記憶する A.MEMO(オート・メモリー)	30
FM/AM放送局を合わせて記憶する D.A.P. (ダイレクト・アクセス・メモリー・プリセット)	31
記憶した放送局を受信する (ファンクション・スイッチで選ぶ場合)	31
記憶した放送局を受信する (プリセット・リスト・メニューで選ぶ場合)	32
記憶したタイトルで検索する (タイトル・サーチ・メニュー)	33
道路交通情報を聴く TRF (トラフィック・インフォメーション)	33



TV

手動で放送局を選ぶ	34
自動的に放送局を選ぶ	35
自動的にチャンネルを記憶する A.MEMO(オート・メモリー)	35
放送局を記憶する	36
記憶した放送局を呼び出す (ファンクション・スイッチで選ぶ場合)	37
記憶した放送局を呼び出す (プリセット・リスト・メニューで選ぶ場合)	38
記憶したタイトルで検索する (タイトル・サーチ・メニュー)	39
音声多重機能を使う	40
チャンネル周波数を微調整する	41

この製品はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく特許製品です。



NAVI

ナビゲーション・モードにする	42
十字カーソルを動かす	43
メニューを操作する	43
AUXを使う	44



イコライザーの操作

イコライザー・モード・ディスプレイ	
表示について	45
イコライザー特性(メーカー特定)を選ぶ	46
自分でイコライザー・カーブを作る	47
スペアナ表示をする	48



サラウンドの操作

サラウンド・モード・ディスプレイ	
表示について	49
サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶ	50
自分でサラウンド・レベル/タイム	
を調整する	51

DHE

D.H.E.の操作

D.H.E.モード・ディスプレイ	
表示について	52
D.H.E.モードを選ぶ	53



L.P.S.の操作

リスニング・ポジション・モード	
ディスプレイ表示について	55
リスニング・ポジションを合わせる	
L.P.S.(リスニング・ポジション・セクター) ...	56
リスニング・ポジションの調整	57



便利な機能

タイトルをつける(TITLE)	58
記憶したタイトル名を消す	60
カーブを記憶する	61
記憶したカーブを呼び出す	62
MAKER'S/PRIVATE切り換え	62
サウンドガイド機能	63
時刻を表示する	64
時刻を設定する	64
割り込み機能(MIX LEVEL)	65
ダイバーシティの対応	66
デモンストレーション機能	66
サブウーハーレベルを調整する	67
映像を調整する	
明るさを調整する	68
色あいを調整する	69
色の濃さを調整する	70
バックグラウンドを切りかえる	71
表示モードを切りかえる	72
サイマル機能にする	74



リモコンで操作する

使用時のご注意 / 電池を入れる	75
基本操作/CD/MDを操作する	76
ラジオ/イコライザー/サラウンド	
を操作する	77

その他

ディスクの取り扱い	78
ミニディスクについて	79
故障かな?と思ったら	80
規格	82
保証について	83
D.H.E.について	84
お問い合わせ窓口	87



演奏する

よく使う操作項目には「アイコン(絵表示)」がついています。アイコンは、各ページ上部の角にも載っていますので、検索するときにご利用してください。



簡単操作ガイド

ここでは、ラジオ・モード画面の移りかわりを例に説明します。

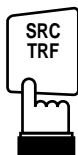
- 1 PWR(パワー)スイッチを押します。
オープニング画面が表示されます。



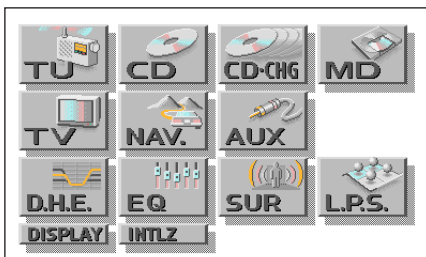
< オープニング画面 >



- 2 SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



< ソース選択画面例 >



- 3 ロータリースイッチを回しながら、カーソル
をソース選択画面のTU(ラジオ)モードに移
動させます。



Memo

ディスクやミニディスクが本機に挿入されていない場合、モードパネルの色はハーフトーンにかわります。

CDチェンジャーとMDチェンジャーは、どちらか1つ接続されている方がモードパネルに表示されます。

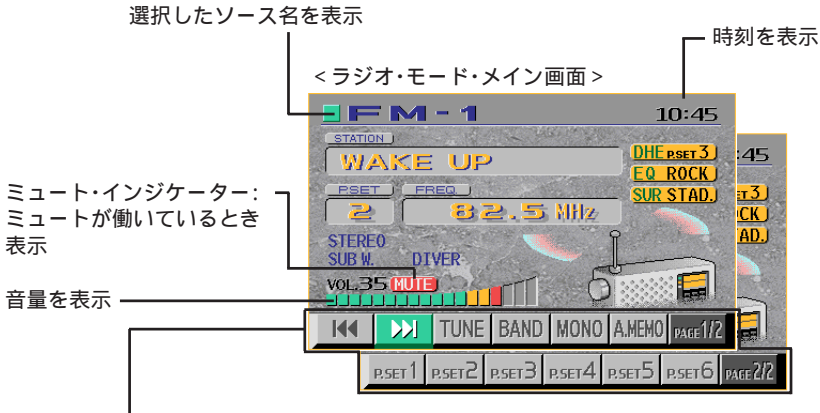
ナビゲーションと接続し、ナビゲーション側の電源がONの状態ならば、モードパネルの[AUX-1] [AUX-2] は、[NAV.] [AUX] と表示します。

[DISPLAY] と [INTLZ] の選択は、車を停止させてから行ってください。走行中は、ハーフトーン表示され選択することはできません。



4 ロータリースイッチを押して、選んだソースを確定します。

選択されたモードパネルは、くるっと回ります。ラジオ・モード・メイン画面に切りかわります。



基本操作

ファンクション・ガイド:

ファンクション・スイッチに割りあてられた機能を表示。

(各ソースによって、ファンクション・ガイドの表示が異なります。)



ファンクション・ガイド上に、PAGE 1/2または、PAGE 1/3など表示された場合は **[7]** スイッチを押すことで、ファンクション・ガイドの内容が切りかわり、さらに多くの操作が可能になります。

ファンクション・スイッチ **[1]** ~ **[7]** を押すとダイレクトにファンクション・ガイドの機能が選択できます。このとき、選択されたファンクション・ガイドはピンク色にかかります。

ロータリースイッチを使ってもファンクション・ガイドの機能を選択することができます。

1. ロータリースイッチを回しながら、カーソルを移動させ(カーソルの色は緑色)希望のファンクション・ガイド機能を選びます。

2. ロータリースイッチを押して、機能を確定します。

但し、ロータリースイッチの長押し(CD操作の早送り/早戻しなど)による操作はできません。

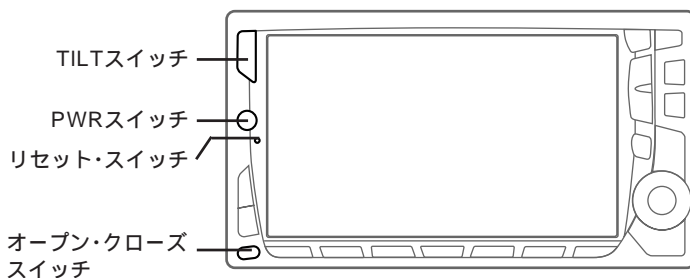


他のソースに移るときは.....

SRQ(ソース)スイッチを押します。



リセットする 電源のON/OFF



リセットする

初めて使う、CDチェンジャー等を取り付けたときや、バッテリーを交換したときは、「リセット・スイッチ」を押してください。

- 1 リセット・スイッチをボールペンなどの先のとがったもので押してから、電源を入れます。

電源のON/OFF

- 1 PWR(パワー)スイッチを押します。
システムの電源がONします。
オープニング画面が表示されます。



- 2 電源を切るときは、再度PWRスイッチを押します。
システムの電源がOFFします。



Memo

ロータリースイッチ、オープン/クローズスイッチ、TILTスイッチ以外のどのスイッチを押しても電源が入ります。

走行中は、一部の操作しかできません。

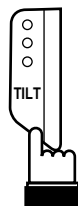


画面を見やすい角度に調整する 可動ディスプレイの開閉



画面を見やすい角度に調整する

- 1** 映し出された画面を見ながらTILTスイッチを押して見やすい角度に調整します。
押すたびにブザーが鳴り、4段階(0～30度)でスクリーンの角度が変わります。

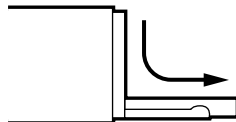


角度調整の際に障害物にあたったときは、障害物を取り除き、再度TILTスイッチを押してください。
液晶ディスプレイは、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。見やすい角度に調整してください。
車のバッテリー電圧が低い場合、視野角度を調整すると画面がちらつくことがあります。故障ではありません。

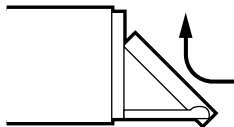
基本操作

可動ディスプレイの開閉

- 1** オープン/クローズスイッチを押します。
可動ディスプレイが開きます。



開いた可動ディスプレイを閉めるときには、
オープン/クローズスイッチを押します。
可動ディスプレイは閉まります。



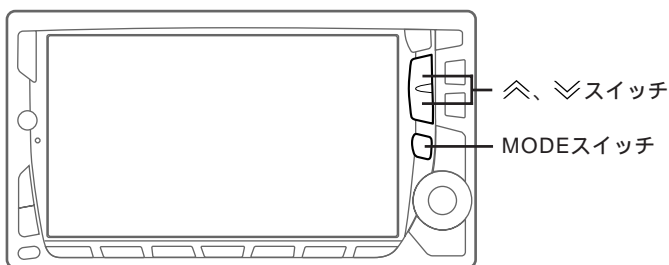
可動ディスプレイが開いた時、ディスプレイの上に物を置くなどの無理な衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
可動ディスプレイを開いたままの状態(約30秒間)していると警告音が5秒間鳴ります。

⚠ 注意

ディスプレイの開閉、および角度調整時に本体とのすき間に指をはさまないでください。ケガや故障の原因となります。
可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

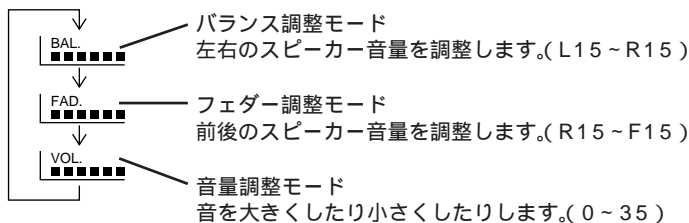


音量／バランス／フェダーの調整



音量／バランス／フェダーの調整

- 1** MODE(モード)スイッチを押して調整したいモードを選択します。
押すたびにモードが切りかわります。



- 2** モードを選択し、5秒以内に⧻、⧼スイッチを押して好みのレベルに調整します。



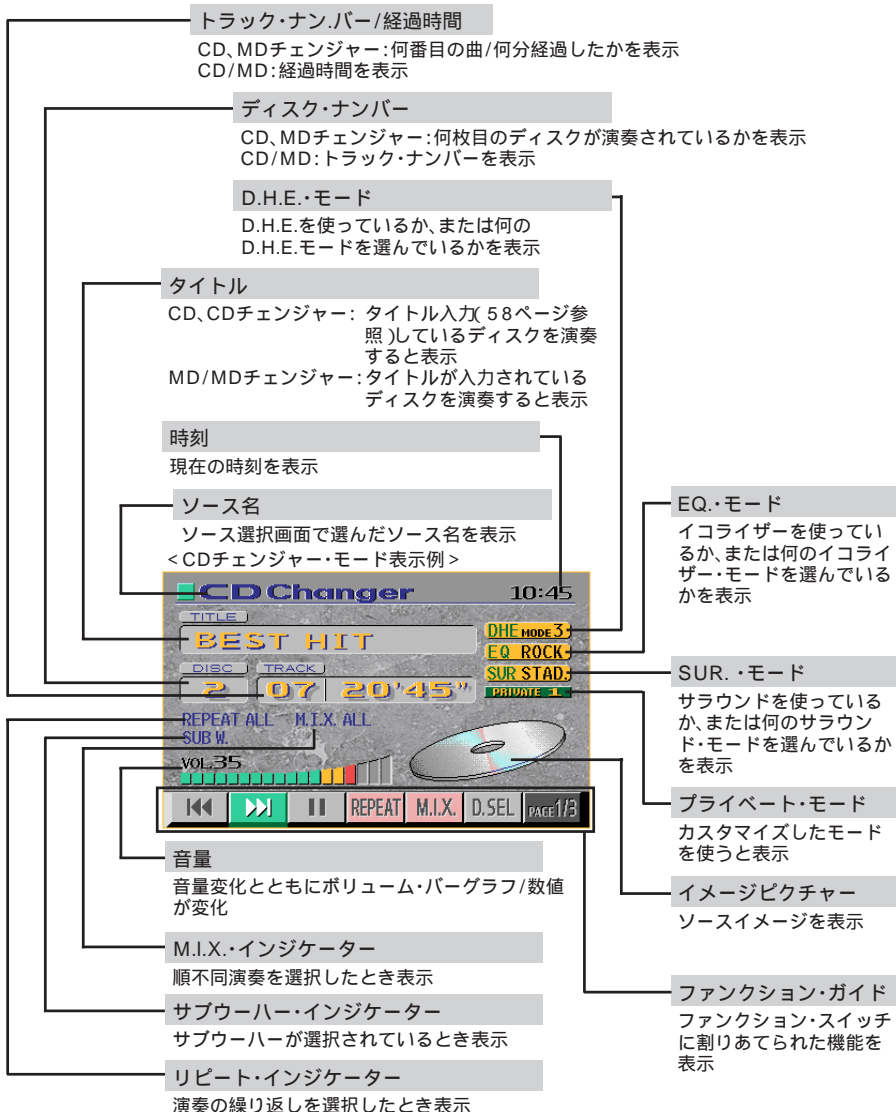
Memo

音量調整だけは、MODEスイッチを押さなくても、ダイレクトに⧻、⧼スイッチを押して調整することができます。
モードを選択して5秒間操作を行わなかった場合、選択前の表示に戻ります。

CD/CDチェンジャー、MD/MDチェンジャー ディスプレイ表示について



CDやMDモード、そして接続されたチェンジャー・モードを操作するために、ディスプレイ表示を理解しましょう。下図をよくお読みの上、操作説明に読み進んでください。



CDを聴く

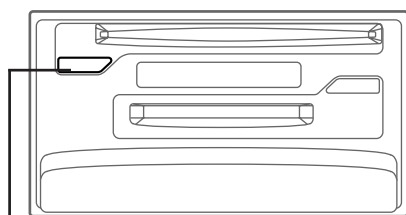


Memo

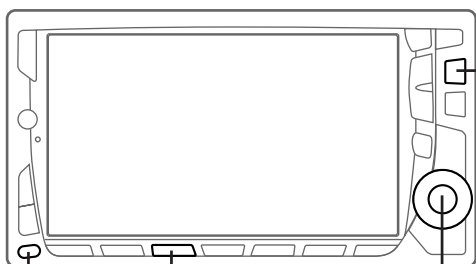
画面はCDチェンジャーのメイン画面です。ソースによって、画面が異なる場合があります。
タイトル入力されていなければ「NO TITLE」と表示します。
詳しくは、操作説明ページも合わせてご覧ください。



ディスクを入れる ディスクを取り出す



イジェクトスイッチ



オープン/クローズ
スイッチ

ロータリースイッチ

3 スイッチ

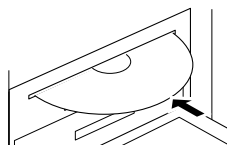
SRCスイッチ

ディスクを入れる

- 1 オープン/クローズスイッチを押します。
可動ディスプレイが開きます。



- 2 ディスクを挿入します。
ディスクが挿入されると自動的に可動ディスプレイは閉まり、演奏が始まります。



ディスクを取り出す。

- 1 オープン/クローズスイッチを押します。



- 2 ディスプレイの内側にある▲(イジェクト)スイッチを押します。
ディスクが自動的にでてきたら、取り扱いに注意してディスクを取り出します。





- 3** オープン/クローズスイッチを押して、可動ディスプレイを閉じます。



Memo

CDシングルは、ダイレクトに挿入できます。シングルCDアダプターは付けないでください。誤動作の原因になります。
ディスクを挿入口から取り出さずにいると、数秒後にディスクは自動的に本機へ引き込まれます。
ディスクとミニディスクは、同時に挿入しないでください。
イグニッション・キー(エンジン・キー)がOFFの状態では、ディスクを挿入しないでください。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。



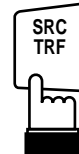
注意

ディスプレイの開閉、および角度調整時に本体とのすき間に指をはさまないでください。ケガや故障の原因となります。
可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

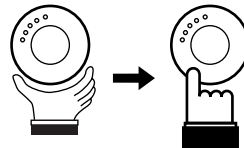
C
D
を
聴
く





演奏する

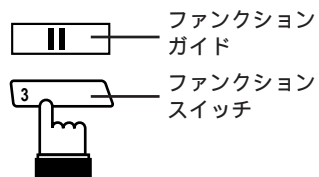
- 1** 本機にディスクを挿入したら、SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2** ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のCDモードを選びます。
ロータリースイッチを押して、確定します。
CDモード・メイン画面に切りかわります。

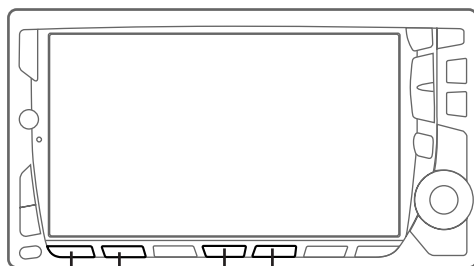


- 3** 演奏を一時中止するには  () スイッチを押します。  () スイッチを再度押すと、演奏が開始されます。





曲の早送り / 早戻しをする 曲の頭出しをする



1 2 4 5 ファンクションスイッチ

曲の早送り / 早戻しをする

- 1** 2 (▶▶) スイッチまたは 1 (◀◀) スイッチを押し続けます。
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。



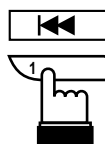
早戻し



早送り

曲の頭出しをする (ミュージック・センサー)



- 1** (演奏中の曲の頭出しをする場合)
1 (◀◀) スイッチを軽く押します。
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。
- (次の曲の頭出しをする場合)
2 (▶▶) スイッチを軽く押します。
次の曲の頭から演奏されます。聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。





繰り返し聴く

REPEAT(リピート演奏)



- 1** 聴きたい曲が演奏されているときに、
(REPEAT)スイッチを押します。
解除するときは、インジケーターが消灯するまで
 (REPEAT)スイッチをくり返し押します。



解除しないかぎり、その曲の演奏が終わっても、くり返し演奏されます。
CDチェンジャー(REPEAT ALL機能をもつ製品)を接続したときはディスクの全曲くり
返し演奏の全曲リピート(REPEAT ALL)ができます。

曲順を変えて聴く

M.I.X.(ミュージック・イン・クロスプレイ)

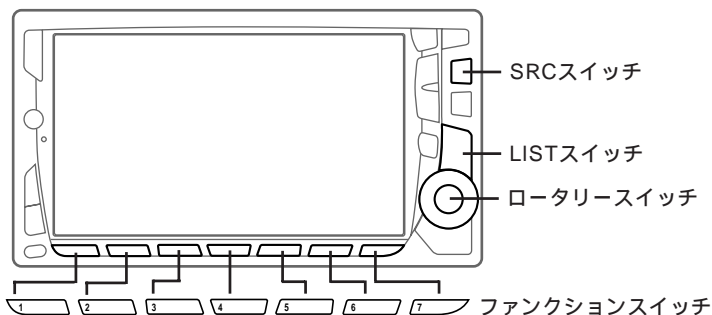
- 1**  (M.I.X.)を押します。
曲が順不同に演奏されます。解除するには、インジ
ケーターが消灯するまで  (M.I.X.)スイッ
チをくり返し押します。



M.I.X. 演奏中のディスク全曲を終了すると、次のディスクに移り、さらにM.I.X. 演奏を続
けます。
CDチェンジャー(M.I.X. ALL機能をもつ製品)と接続したときは、M.I.X.の次にくる表示が
ALLになります。これは全てのディスクの曲が順不同に演奏されます。
M.I.X. 演奏のときは、1曲リピートはできません。



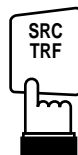
6/12連奏CDチェンジャー(オプション)の操作



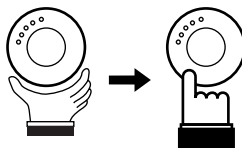
6/12連奏CDチェンジャー (オプション)の操作

当社のCDチェンジャーが接続されている場合は、本機からCDチェンジャーを操作できます。ディスクを選んだ後は、本機と同様の操作ができます。

- 1 SRCスイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2 ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のCD-CHG(CDチェンジャー)モードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
CDチェンジャー・モード・メイン画面に切りかわります。

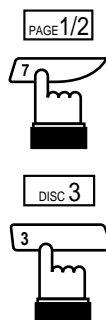


- 3 6連奏CDチェンジャーの場合:

(PAGE1/2)スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容が変わります。
ディスク3枚目を選ぶときは...

(DISC3)スイッチを押します。

(DISC1) ~ (DISC6)スイッチ
が、ディスクNo.1 ~ 6に対応しています。

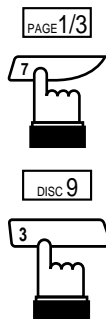


ディスク・タイトル・リストを表示する



3 12連奏CDチェンジャーの9枚目を選ぶ場合:

7 (PAGE 1/3) スイッチを2回押します。
ファンクションガイドの内容が切りかわります。
次に 3 (DISC 9) スイッチを押します。
1 (DISC 7) ~ 6 (DISC 12) スイッチが、ディスクNo. 7 ~ 12に対応しています。



6 (D.SEL) スイッチを押してもディスクを選択することができます。
曲の番号(トラックNo.)を指定するには、軽く 1 (◀◀) スイッチまたは、
2 (▶▶) スイッチを押します。

ディスク・タイトル・リストを表示する

記憶したCDタイトルをリスト表示し、聴きたいディスクが選べます。(タイトル入力方法は、58ページ参照)

CDを聴く

1 CDチェンジャー・モード時、LISTスイッチを押します。

タイトル・リスト表示になり、記憶したタイトルが表示されます。



2 ロータリースイッチを左右に回し、カーソルを聴きたいディスクのタイトルに設定します。



3 ロータリースイッチを押します。

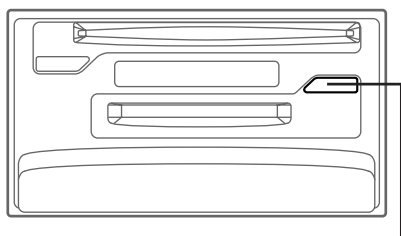
CDチェンジャー・モード・メイン画面に切りかわり、聴きたいタイトルのディスクを演奏します。



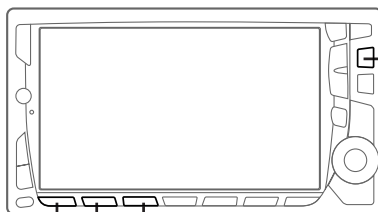
タイトル・リスト表示時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面へ戻ることができます。



演奏する



イジェクトスイッチ



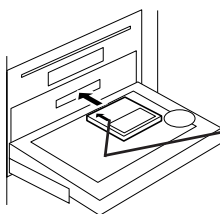
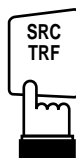
SRCスイッチ

1 2 3

ファンクションスイッチ

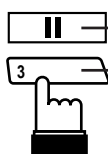
演奏する

- 1 可動ディスプレイを開いて、本機に、ミニディスクを挿入します。
ミニディスクが挿入されると自動的に可動ディスプレイは閉まり演奏が始まります。



ミニディスクは必ずラベル面を上にして矢印の方向に挿入してください。

- 2 演奏を一時中止するには、3 (||) スイッチを押します。3 (▶) スイッチを再度押すと、演奏が開始されます。



ファンクションガイド

ファンクションスイッチ

- 3 ミニディスクを取り出す場合は、可動ディスプレイを開いて、ディスプレイの内側にある (イジェクト・スイッチ) を押します。



Memo

ミニディスクを完全に挿入していない状態でオープン/クローズ・スイッチを押さないでください。
挿入できるミニディスクは一枚だけです。
外側に付いたホコリやごみを落としてから挿入してください。
重ね貼りしたラベル、はがれかかったラベルが付いたものは使わないでください。
ミニディスクとディスクは、同時に挿入しないでください。
イグニッション・キー(エンジン・キー)がOFFの状態では、ミニディスクを挿入しないでください。このとき無理に押し込むと故障の原因となります。



注意

ディスプレイの開閉、および角度調整時に本体とのすき間に指をはさまないでください。ケガや故障の原因となります。
可動ディスプレイの裏面が、暖かくなりますが故障ではありません。手をふれないでください。

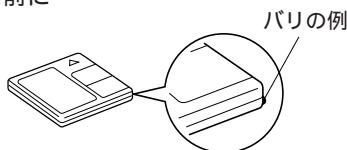
曲の頭出しをする 曲の早送り / 早戻しをする



ミニディスクを挿入する前に

ミニディスクの外側を指で触って「バリ」が無いことを確認してから挿入してください。もし「バリ」があったときは、取り除いてから挿入してください。

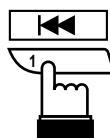
「バリ」を付けたまま挿入しますと動作不良や故障の原因になる場合があります。



曲の頭出しをする (ミュージック・センサー)

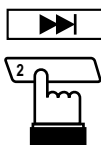
- 1 (◀◀)スイッチを軽く押します。
今、演奏されている曲の頭から演奏されます。
聴きたい曲がさらに前にあるときは、この操作を繰り返します。

演奏中の曲の頭出しをする場合



- 2 (▶▶)スイッチを軽く押します。
次の曲の頭から演奏されます。聴きたい曲がさらに後ろにあるときは、この操作を繰り返します。

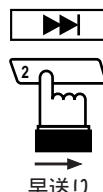
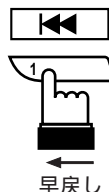
次の曲の頭出しをする場合



M D を 聴 く

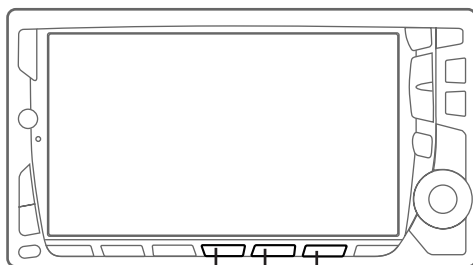
曲の早送り / 早戻しをする

- 1 (▶▶)スイッチまたは (◀◀)スイッチを押し続けます。
聴きたいところで手を離すと、そこから演奏が始まります。





繰り返し聴く 曲順を変えて聴く



4 5 6 ファンクションスイッチ

繰り返し聴く REPEAT(リピート演奏)

- 1 聴きたい曲が演奏されているときに **4** (REPEAT)スイッチを押します。
選んだ曲を繰り返し演奏します。
解除するときは、インジケーターが消灯するまで **4** (REPEAT)スイッチをくり返し押します。

REPEAT



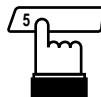
Memo

MDチェンジャー(REPEAT ALL機能をもつ製品)と接続したときは、REPEATの次になる表示がALL(全曲リピート)になります。

曲順を変えて聴く M.I.X.(ミュージック・イン・クロスプレイ)

- 1 **5** (M.I.X.)スイッチを押します。
ミニディスク中の曲が、順不同に演奏されます。
解除するには、インジケーターが消灯するまで **5** (M.I.X.)スイッチをくり返し押します。

M.I.X.



Memo

本機内蔵のMDでは、全曲の演奏が終わると、別の順序で演奏されます。
MDチェンジャー(M.I.X. ALL機能をもつ製品)と接続したときは、M.I.X. の次になる表示がALLになります。これは全てのディスクの曲が順不同に演奏されます。



タイトルを表示する / スクロールする

本機内蔵のMDでは、ディスク名、曲名が長い場合に、タイトルを1桁ずつスクロール表示(最大32文字までスクロール表示)させることができます。

- 1 ミニディスク演奏中に (SCROLL) スイッチを押します。

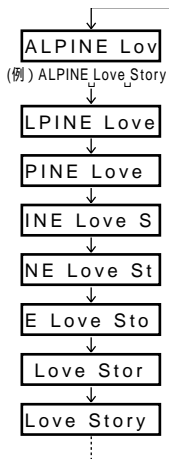
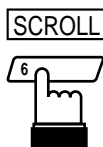
押すたびにディスク・タイトルのスクロール表示、またはトラック・タイトルのスクロール表示に切りかわります。



- 2 (SCROLL) スイッチを2秒以上押して、オートスクロールさせます。

タイトルのスクロール表示を繰り返し行います。

オートスクロールを解除するには、再度 (SCROLL) スイッチを2秒以上押します。



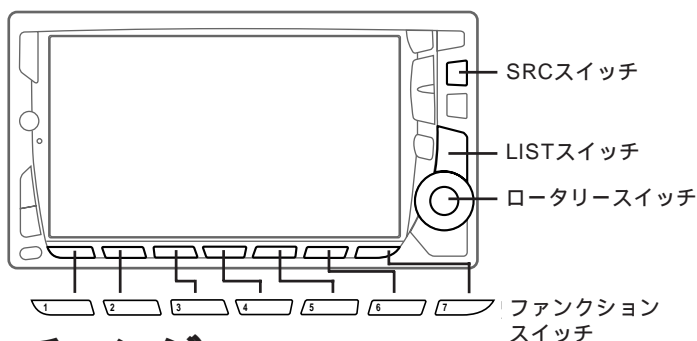
Memo

録音 / タイトル入力した機器によっては、本機で文字を正確に表示できない場合もあります。

ディスク名や曲名が記録されていない場合は、「NO TITLE」と表示します。



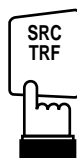
6連奏MDチェンジャー(オプション)の操作



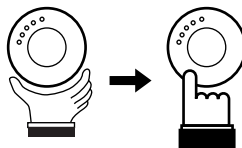
6連奏MDチェンジャー (オプション)の操作

当社のMDチェンジャーが接続されている場合は、本機からMDチェンジャーを操作できます。
ミニディスクを選んだ後は、本機と同様の操作ができます。

- 1 SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2 ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のMD-CHG(MDチェンジャー)モードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
MDチェンジャー・モード・メイン画面に切りかわります。



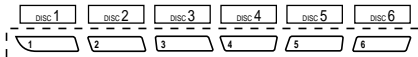
- 3 **7** (PAGE1/2)スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容が切りかわります。



トラック・タイトル・リストを表示する ディスク・タイトル・リストを表示する



- 4** (DISC 1) ~ (DISC 6) スイッチのいずれかを押して、MDチェンジャーにセットされているディスクを選択します。選択されたディスクが表示されます。



(DISC 1) ~ (DISC 6) スイッチが、ディスクNo. 1 ~ 6に対応しています。
曲の番号(トラックNo.)を指定するには、軽く () スイッチまたは、
 () スイッチを押します。

トラック・タイトル・リストを表示する (MD モード) ディスク・タイトル・リストを表示する (MD チェンジャー)

- 1** LISTスイッチを押します。
MD モード時：トラック・タイトル表示画面に切りかわります。
MD チェンジャーモード時：
ディスク・タイトル表示画面に切りかわります。



- 2** ロータリースイッチを左右に回し、カーソルを聴きたいタイトルに設定します。



- 3** ロータリースイッチを押して、確定します。
選択したタイトルが演奏され、MDモード・メイン画面に切りかわります。

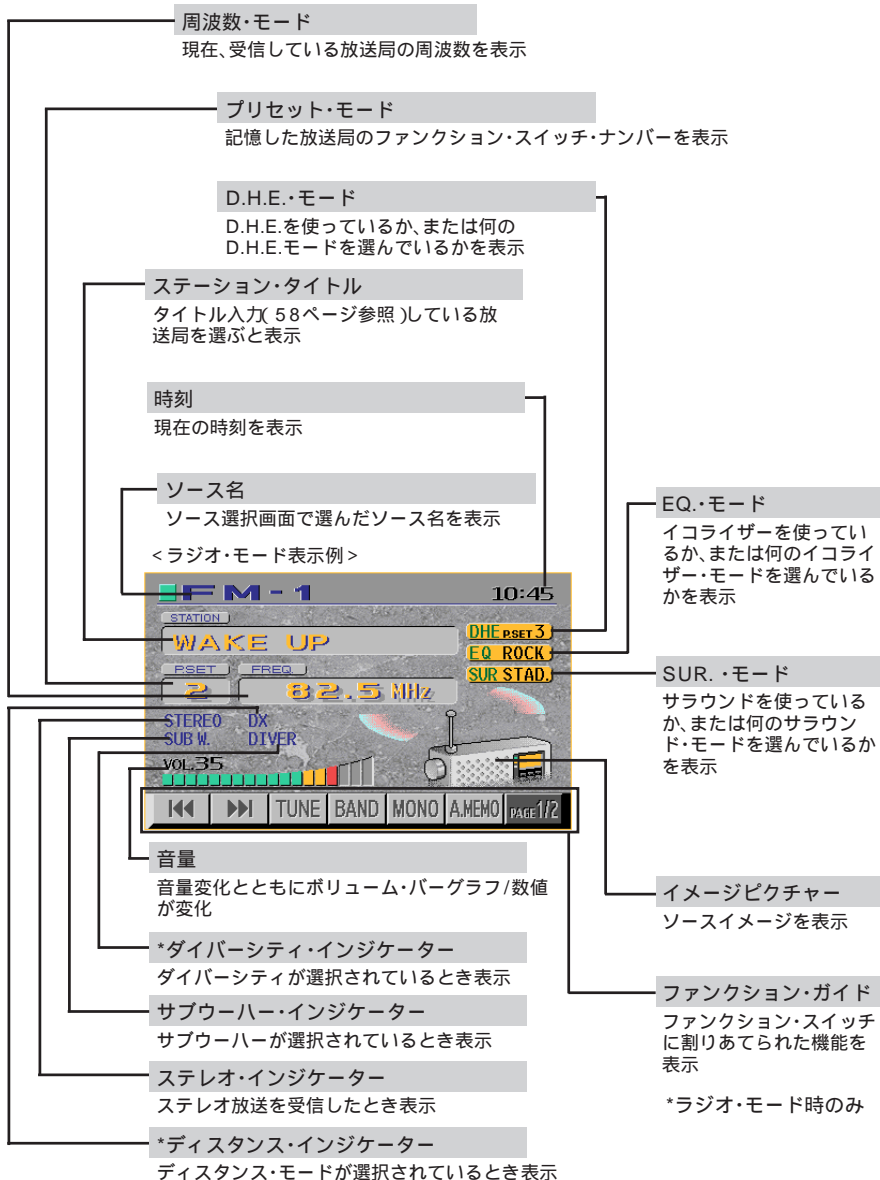


タイトル名が記憶されていない場合は、「NO TITLE」、MDチェンジャー内にMDが挿入されていない場合には、「NO DISC」と表示されます。
トラック・タイトル表示、ディスク・タイトル表示時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面へ戻ることができます。



ラジオ、TVディスプレイ表示について

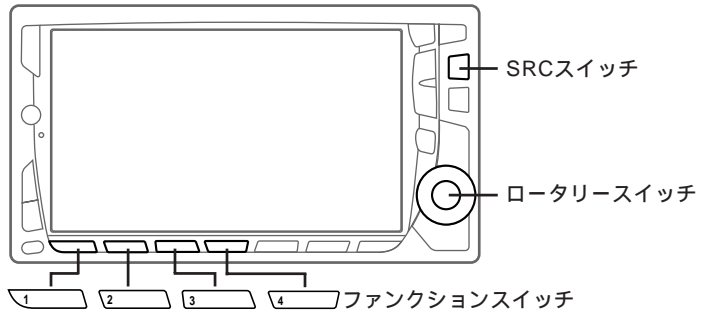
ラジオ・モードやTV・モードを操作するために、ディスプレイ表示を理解しましょう。下図をよくお読みの上、操作説明に読み進んでください。



Memo

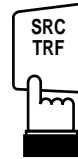
画面はラジオ・モードのメイン画面です。TV・モードは若干画面が異なります。タイトル入力されていなければ「NO TITLE」と表示します。詳しくは、操作説明ページも合わせてご覧ください。

周波数で放送局を選ぶ

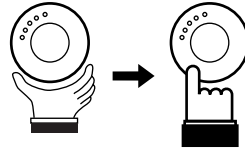


周波数で放送局を選ぶ(マニュアル)

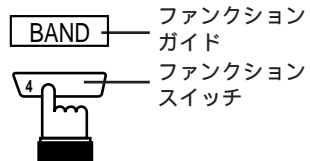
- 1 SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



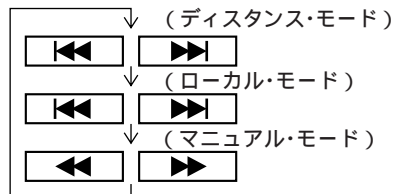
- 2 ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のTU(ラジオ)モードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
ラジオ・モード・メイン画面に切りかわります。



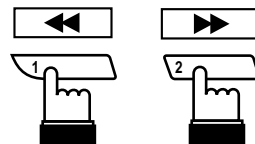
- 3 4(BAND)スイッチを押して、バンド(FM-1、FM-2、AM)を選びます。
押すたびにバンドが切りかわります。



- 4 3(TUNE)スイッチを押してMANUAL(マニュアル)モードにします。
3(TUNE)スイッチを押すごとに1、2スイッチのファンクションガイド表示がかわります。

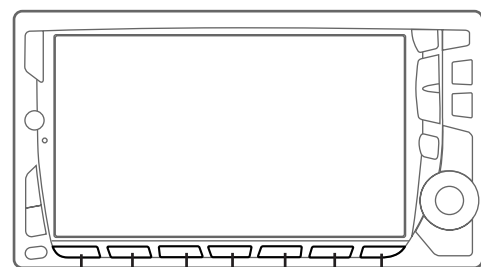


- 5 1(◀◀)スイッチまたは、2(▶▶)スイッチを押します。
押すごとに1段階ずつ周波数が変わります。





自動的に放送局を選ぶ SEEK



ファンクションスイッチ

自動的に放送局を選ぶ SEEK

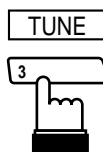
自動で選局する場合は、TUNE(チューニングモード切りかえ)スイッチで、受信感度を設定しておくくと便利です。

ディスプレイにDXインジケーターが点灯していれば受信感度はディスタンスモードです。消えていけばローカルモードです。

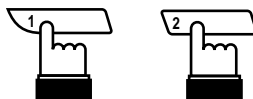
- 1 **4** (BAND)スイッチを押してバンドを選びます。
押すたびにバンドが切りかわります。



- 2 **3** (TUNE)スイッチを押します。
押すたびに、DX(ディスタンス)モード、LOCAL(ローカル)モード、MANUAL(マニュアル)モードと切りかわります。



- 3 **1** スイッチまたは、**2** を押します。
押すごとに自動で次の放送局を探し始めます。



Memo


受信感度には次の2種類があります。

最初に電源をONにしたときは、DXモードになっています。



DX(ディスタンス)モード 電波の強弱にかかわらず、受信可能な放送局がすべて受信されます。

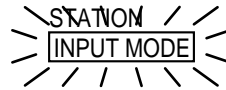
ローカルモード 電波の強い放送局だけが受信されます。



放送局を記憶する(プリセット・メモリー)

- 1** 27、28ページを参照し、記憶させたい放送局に周波数を合わせます。
 (PAGE 1/2) スイッチを押します。



- 2** ファンクション・スイッチ( (P.SET 1) ~  (P.SET 6) のうち 1 つ) を 2 秒以上押します。
 ステーションタイトル表示部に「INPUT MODE」
 と表示され点滅します。



- 3** 記憶させたいファンクション・スイッチ  (P.SET 1) ~  (P.SET 6) のいずれかを押します。
 選んだ放送局が記憶されます。



- 4** さらに記憶させるときは、手順 1 ~ 3 を繰り返します。



放送局は24局まで記憶できます。

FM 1...6 局、FM 2...6 局、AM...6 局、FM + AM...6 局(D.A.P.)

すでに記憶されているスイッチに記憶させると、後から記憶させた放送局が有効になります。


記憶された放送局は、バッテリー電源コードをはずさないかぎり記憶されています。

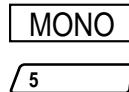
ステレオ放送が聴きにくいときは

モノラル受信に切りかえると、聴きやすくなります。

 (MONO) スイッチを押します。

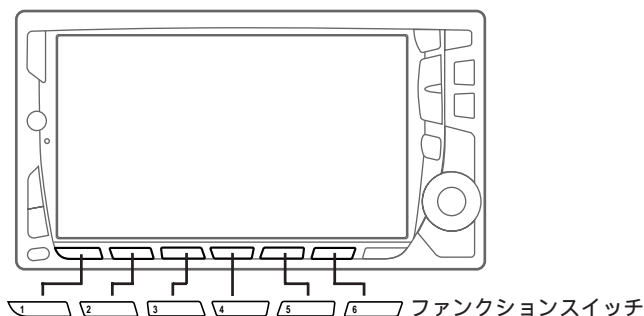
STEREOインジケーターが消えモノラル受信に切りかわります。

ステレオ受信に戻すときは、再度  (MONO) スイッチを押します。










自動的に放送局を記憶する A.MEMO



自動的に放送局を記憶する A.MEMO (オート・メモリー)

- 1**  (BAND)スイッチを押して受信したいバンドを表示させます。



- 2**  (A.MEMO)スイッチを押します。
放送局を探し始め、電波の強い順に6つの放送局が自動的に受信されてファンクション・スイッチ  (P.SET1) ~  (P.SET6)に記憶されます。記憶が終わるとプリセット・スイッチの  に記憶されている放送局が受信されます。



放送局を1つも受信できなかったときは、自動記憶の操作の直前に受信していた放送局が受信されます。

A.MEMO(オート・メモリー)の操作をすると、記憶されているタイトルが消去される場合があります。



FM/AM放送局を合わせて記憶する D.A.P. ()))

記憶した放送局を受信する

FM/AM放送局を合わせて記憶する

D.A.P.(ダイレクト・アクセス・メモリー・プリセット)


同じバンドにFM放送局とAM放送局を合わせて6局記憶できます。

- 1  (BAND)スイッチを 2 秒以上押します。
解除するには、再度  (BAND)スイッチを 2 秒以上押します。




- 2 放送局を選択して記憶させます。
放送局の選択・記憶方法は「自動的に放送局を記憶する(オート・メモリー)」または「放送局を記憶する(プリセット・メモリー) (29ページ) を参照してください。



記憶した放送局を受信する (ファンクション・スイッチで選ぶ場合)

- 1  (BAND)スイッチを押してバンドを選びます。
押すたびにバンドが切りかわります。



Memo

D.A.P.機能を使って記憶させたときは、 (BAND)スイッチを 2 秒以上押します。

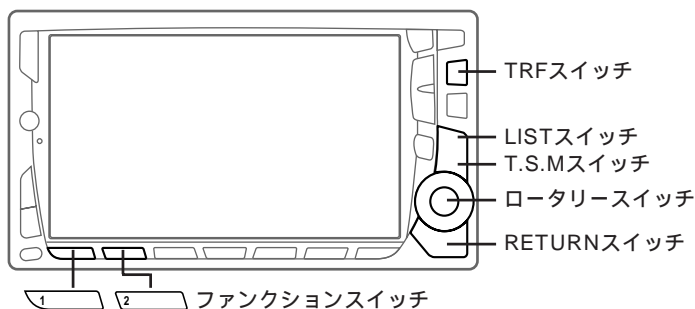
- 2 記憶させた放送局のファンクション・スイッチ( (P.SET1) ~  (P.SET6) のうち 1 つ)を押します。
選択した放送局が受信されます。



ラジオを聴く



記憶した放送局を受信する



記憶した放送局を受信する

(プリセット・リスト・メニューで選ぶ場合)

記憶した放送局をリスト表示させ、聴きたい放送局が選べます。

放送局にタイトルが入力されてあれば、リストに表示されます。(タイトル入力方法は、58ページ参照)

- 1 LISTスイッチを押します。
プリセット・リスト・メニュー画面(ステーション・タイトル・リスト)に切りかわります。
記憶した放送局が表示されます。



- 2 ロータリースイッチを左右に回して、聴きたい放送局を選びます。



- 3 ロータリースイッチを押します。
ラジオ・モード・メイン画面に切りかわり、聴きたい放送局が受信されます。



Memo

プリセット・リスト・メニュー画面時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面へ戻ることができます。

記憶したタイトルで検索する (タイトル・サーチ・メニュー)

記憶したステーションタイトルから、聴きたい放送局を検索できます。(タイトル入力方法は、58ページ参照)

- 1 T.S.M.スイッチを2秒以上押します。
検索リスト画面になり、記憶したタイトルが表示されます。




- 2 ロータリースwitchを左右に回して、聴きたい放送局のタイトルを選びます。





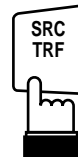
- 3 ロータリースwitchを押します。
ラジオ・モード・メイン画面に切りかわり、聴きたいタイトルの放送局を受信します。



 **Memo** 検索リスト画面時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。


道路交通情報を聴く TRF (トラフィック・インフォメーション)

- 1 TRF (トラフィック・インフォメーション) スイッチを2秒以上押します。
TRFモードになります。 (1620kHz) スイッチを押すと、AM放送の1620kHz、 (1629kHz) スイッチを押すと1629kHzの交通情報を受信します。



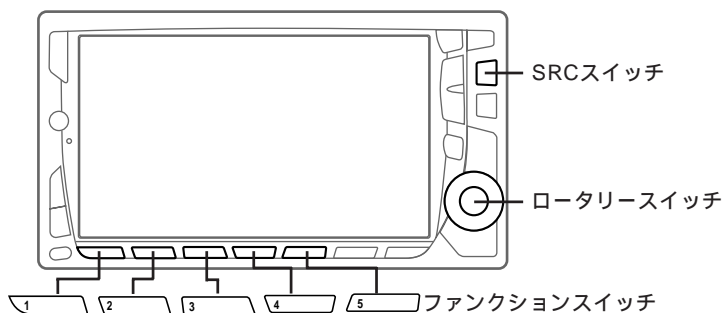
- 2 TRFモードを解除するには、RETURNスイッチを押します。
通常モードに戻ります。



 **Memo** MD、CD、ラジオのいずれかを聴いていても、交通情報を受信できます。

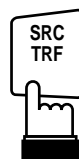


手動で放送局を選ぶ

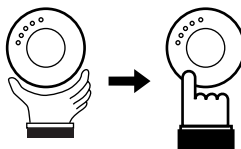


手動で放送局を選ぶ

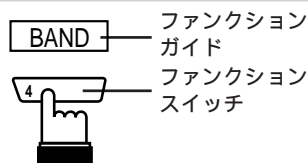
- 1** SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



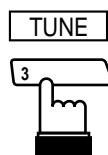
- 2** ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のTVモードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
TV・モード・メイン画面に切りかわります。



- 3** 4 (BAND)スイッチを押して、バンド(TV-1、TV-2、TV-3)を選びます。
押すたびにバンドが切りかわります。



- 4** 3 (TUNE)スイッチを押して、MANUALモードを選びます。
押すたびにMANUAL、SEEKと、モードが切りかわります。

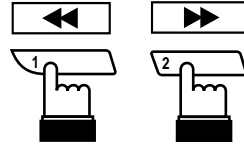


自動的に放送局を選ぶ 自動的にチャンネルを記憶する



5 ()スイッチまたは、 ()スイッチを押します。

スイッチを押すとチャンネルNo.が1局ずつダウンします。 スイッチを押すとチャンネルNo.が1局ずつアップします。押し続けることで連続してチャンネルNo.が変わります。チャンネルは1～62cHまで変化します。



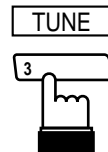
TVモードのとき、各スイッチの操作は、5秒経過すると、ファンクションガイド表示画面から、TV画面に切りかわります。再度、ファンクションガイドを表示させるには、ロータリースイッチを回すか、または スイッチを押して下さい。



自動的に放送局を選ぶ

1 TVモード時、 (TUNE)スイッチを押して、SEEKモードを選びます。

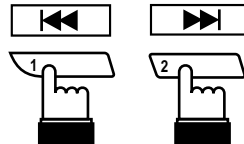
押すたびにMANUAL、SEEKとモードが切りかわります。



T
V

2 ()スイッチまたは、 ()スイッチを押します。

チャンネルNo.が自動的にアップまたはダウンし、受信可能なチャンネルNo.で停止します。



自動的にチャンネルを記憶する

A.MEMO(オート・メモリー)

1 TVモード時、 (A.MEMO)スイッチを押します。

自動で電波の強いチャンネルを選択して、記憶します。

オート・メモリーが終わると、自動的に最初に記憶したチャンネルを受信します。



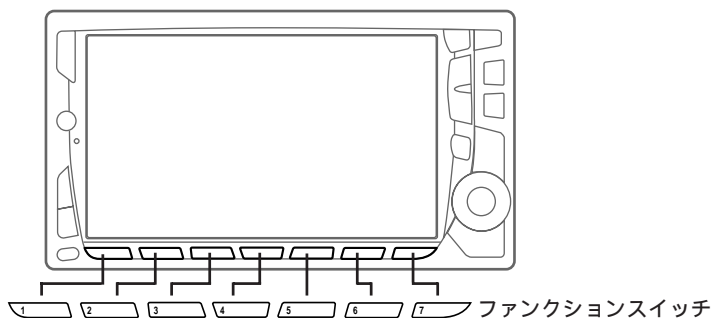
オート・メモリーで1チャンネルも記憶できなかったときは、オート・メモリーを始めたときのチャンネルに戻ります。

放送局は18局まで記憶できます。

TV1・・・6局、TV2・・・6局、TV3・・・6局



放送局を記憶する



放送局を記憶する

- 1** TVモード時、記憶させたい放送局に周波数を合わせます。

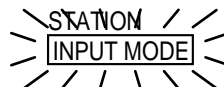
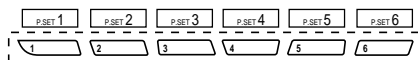
「手動で放送局を選ぶ / 自動的に放送局を選ぶ」の操作をした後、入力してください。

7 (PAGE 1/3) スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容が切りかわります。



- 2** **1** (P.SET 1) ~ **6** (P.SET 6) スイッチのいずれかを2秒以上押します。

ステーション・タイトル表示部に「INPUT MODE」と表示され点滅します。



- 3** 記憶させたいファンクションスイッチ **1** (P.SET 1) ~ **6** (P.SET 6) のいずれかを押します。

選んだ放送局が記憶されます。



- 4** さらに記憶させるときは、手順1～3を繰り返します。



記憶した放送局を呼び出す (ファンクション・スイッチで選ぶ場合)

- 1 TVモード時、**7** (PAGE1/3) スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容が切りかわります。

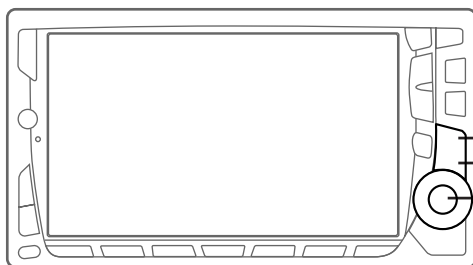


- 2 記憶させた放送局の **1** (P.SET 1) ~ **6** (P.SET 6) スイッチのいずれかを押します。
呼びだしたい放送局を選びます。





記憶した放送局を呼び出す



LISTスイッチ
T.S.Mスイッチ
ロータリースイッチ

記憶した放送局を呼び出す (プリセット・リスト・メニューで選ぶ場合)

記憶した放送局をリスト表示させ、呼びだしたい放送局が選べます。

放送局にタイトルが入力されてあれば、リストに表示されます。(タイトル入力方法は、58ページ参照)

- 1 LISTスイッチを押します。
プリセット・リスト・メニュー画面(ステーション・タイトル・リスト)に切りかわります。
記憶した放送局が表示されます。



- 2 ロータリースイッチを左右に回して、呼びだしたい放送局を選びます。



- 3 ロータリースイッチを押します。
TVモード・メイン画面に切りかわり、呼びだしたい放送局が受信されます。



Memo

プリセット・リスト・メニュー画面時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面へ戻ることができます。



記憶したタイトルで検索する

(タイトル・サーチ・メニュー)

記憶したステーションタイトルから、呼びだしたい放送局を検索できます。(タイトル入力方法は、58ページ参照)

- 1 T.S.M.スイッチを2秒以上押します。
検索リスト画面になり、記憶したタイトルが表示されます。



- 2 ロータリースイッチを左右に回して、呼びだしたい放送局のタイトルを選びます。



- 3 ロータリースイッチを押します。
TVモードメイン画面に切りかわり、呼びだしたいタイトルの放送局を受信します。



T
V

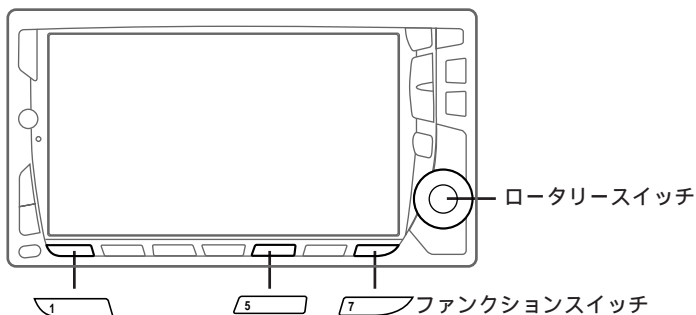


Memo

検索リスト画面時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。



音声多重機能を使う(二重音声放送)



音声多重機能を使う(二重音声放送)

ニュースや映画などの2カ国語放送や、スポーツの実況中継など、異なった2種類の音声放送(二重音声放送)を楽しむことができます。

- 1 TVモード時、5(MAIN/SUB)スイッチを押します。

5(MAIN/SUB)スイッチを押すたびに、MAIN/MAIN+SUB/SUBの順に切りかわります。



Memo

二重音声放送を受信していないときは、表示は切りかわりますが、主音声/副音声(メイン/サブ)は切りかわりません。



チャンネル周波数を微調整する

- 1 TVモード時、 (PAGE 1/3)スイッチを2回押します。



- 2 (FREQ. ADJ)スイッチを押します。
周波数微調整モードに切りかわります。



- 3 ロータリースイッチを回しながら調整します。



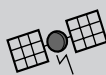
(-)方向 (+)方向

- 4 調整が終わったら、ロータリースイッチを押して確定します。

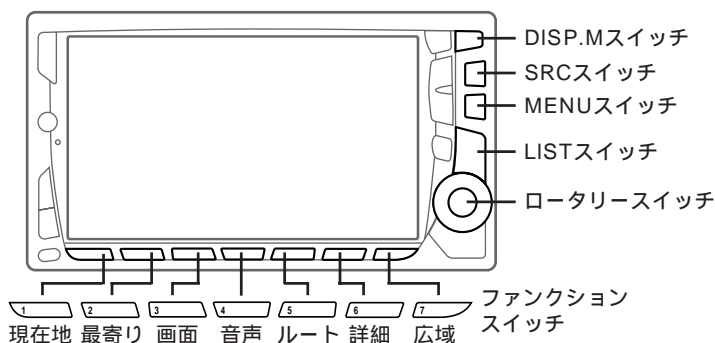


Memo

チャンネル周波数の微調整は、車を停止させてから行って下さい。走行中は操作できません。



ナビゲーション・モードにする

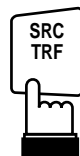


ナビゲーション・モードにする

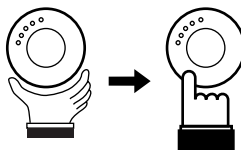
当社のナビゲーション製品が接続されている場合、本機のスイッチからナビゲーションを操作することができます。

また、ナビゲーション側の電源がONの状態ならば、ナビゲーションの映像と音声が入り込まれます。(設定については、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。)

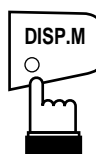
- 1** SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2** ロータリースイッチを回して、ソース選択画面のAUX-1モードを選びます。ロータリースイッチを押して確定します。



- 3** DISP.Mスイッチを2秒以上押します。
ナビゲーション側の電源がONになり、ナビゲーションの初期画面が表示されます。ナビゲーション側の電源をOFFにするときは、DISP.Mスイッチを2秒以上押します。



十字カーソルを動かす メニューを操作する



十字カーソルを動かす

- 1 ロータリースイッチを回します。
十字カーソルが移動します。
LISTスイッチを押すごとに十字カーソルの動く
方向が左右と上下に切りかわります。



十字カーソル



メニューを操作する

- 1 MENUスイッチを押します。
メインメニューが表示されます。



- 2 .ロータリースイッチを回して、希望するメインメニューを選びます。
サブメニューが表示されます。
LISTスイッチを押すごとに左右、上下に移動方向
が切りかわります。

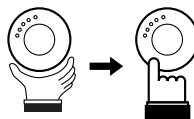


上下移動

左右移動



- 3 ロータリースイッチを回して、サブメニュー
から希望の項目を選び、ロータリースイッチ
を押して項目を確定します。

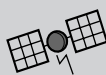


Memo

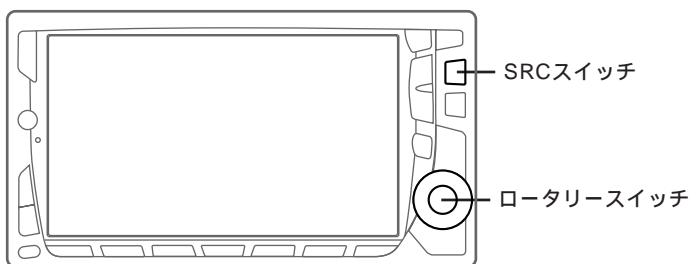
...ファンクションスイッチ **1** ~ **7** を押したとき、ファンクションガイド
上に名称は表示されません。

これらのスイッチ操作を組み合わせると、ナビゲーション付属リモコン同等の操作が本
機から行えます。この他の詳しい操作については、ナビゲーションの取扱説明書も合わ
せてご覧ください。

操作説明では、077シリーズのナビゲーション画面を利用しています。接続する製品に
よって機能 / 表示が異なる場合があります。

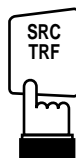


AUXを使う

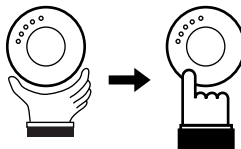


AUXを使う

- 1** SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



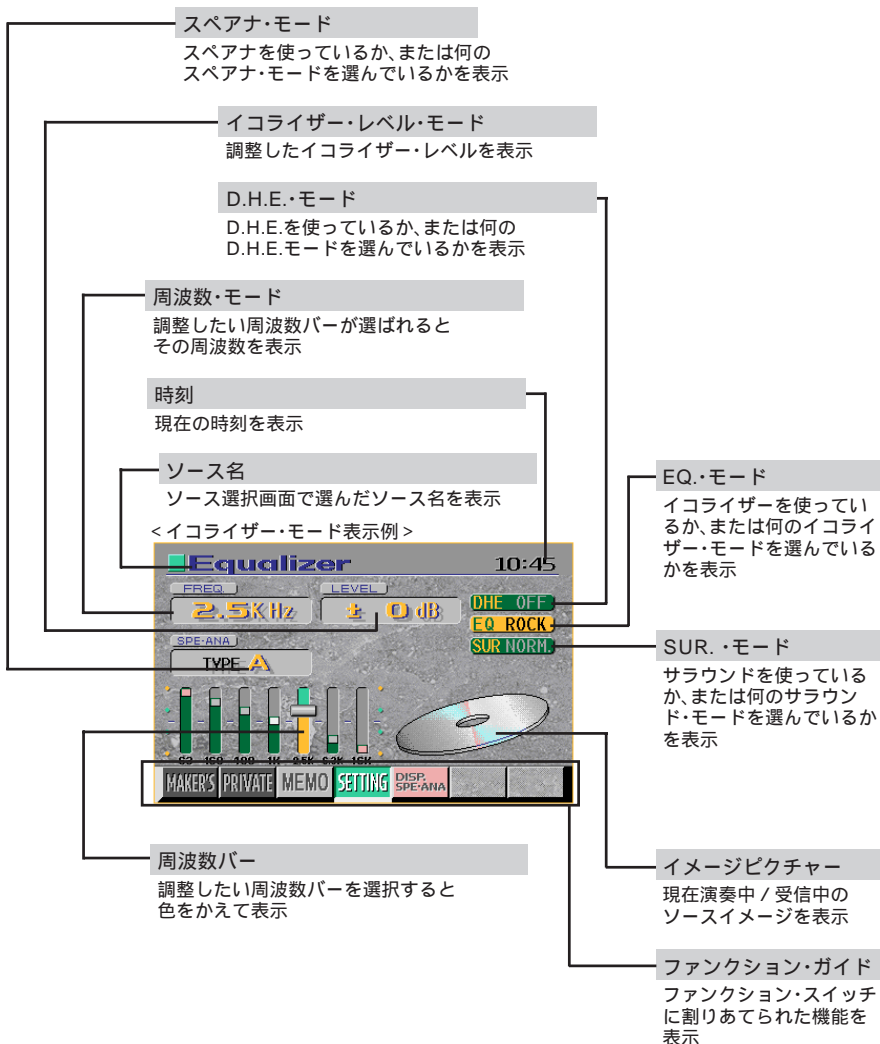
- 2** ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のAUXを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
AUXモードに切りかわります。



イコライザー・モード・ディスプレイ表示について



イコライザー・モードを操作するために、ディスプレイ表示を理解しましょう。
下図をよくお読みの上、操作説明書に読み進んでください。



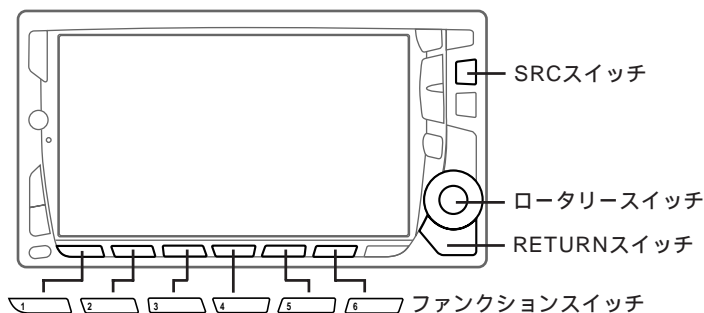
イコライザーの操作



画面はイコライザー・モードのセッティング画面です。
詳しくは、操作説明ページも合わせてご覧ください。

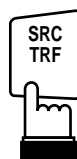


イコライザー特性を選ぶ

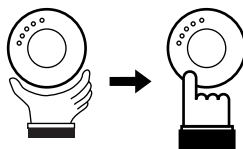


イコライザー特性(メーカー設定)を選ぶ

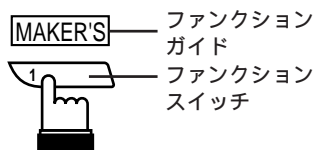
- 1 SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース画面選択に切りかわります。



- 2 ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のEQ(イコライザー)モードを選びます。
ロータリースイッチを押して、確定します。
EQモード・メイン画面に切りかわります。

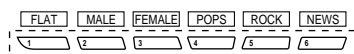


- 3 1 (MAKER'S)スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容が切りかわります。



- 4 希望するイコライザー特性を選び、対応している 1 (FLAT) ~ 6 (NEWS) スイッチのいずれかを押します。

イコライザー・モードは、音楽ジャンルに合わせて、あらかじめ設定している6種類 FLAT, MALE, FEMALE, POPS, ROCK, NEWS の中から選べます。






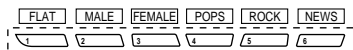
- 5 設定が終わったら、RETURNスイッチを押します。
EQモード・メイン画面に戻ります。






自分でイコライザー・カーブを作る

- 1** EQモード時、 (MAKER'S) スイッチを押して、調整したいイコライザー特性  (FLAT) ~  (NEWS) スイッチのいずれかを押します。



- 2** RETURNスイッチを押して、EQモード・メイン画面へ戻します。



- 3**  (SETTING) スイッチを押します。
EQカーブ調整モードになります。



- 4** ロータリースイッチを左右に回して、調整したい周波数バーへ移動させます。
調整したい周波数バーの色が変わります。



- 5** ロータリースイッチを押して、調整したい周波数バーを確定します。



- 6** ロータリースイッチを回して、お好みのレベルに調整します。
「Custom」と表示されます。
さらに別の周波数帯を調整するには、上記手順をくり返し調整をおこないます。

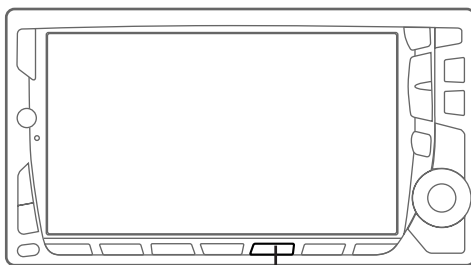


- 7** 設定が終わったら、RETURNスイッチを押して確定します。
EQモード・メイン画面に戻ります。





スペアナ表示をする



5 ファンクションスイッチ

スペアナ表示をする

- 1 EQモード時、5 (DISP.SPE-ANA)スイッチを押します。

スペアナ表示は、2色のパターンがあります。お好みの色に設定してください。

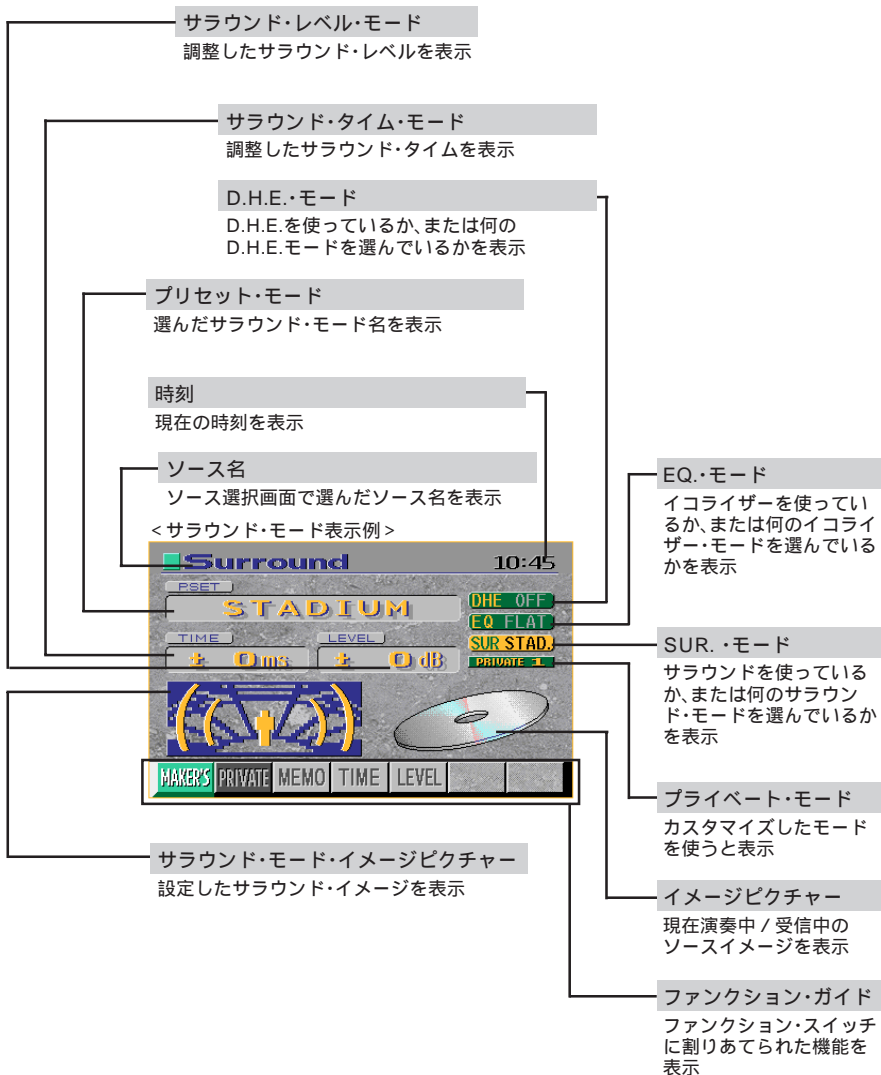
押すたびにTYPE A, TYPE B, OFFの順に切りかわります。



サラウンド・モード・ディスプレイ表示について



サラウンド・モードを操作するために、ディスプレイ表示を理解しましょう。
下図をよくお読みの上、操作説明に読み進んでください。



サラウンドの操作

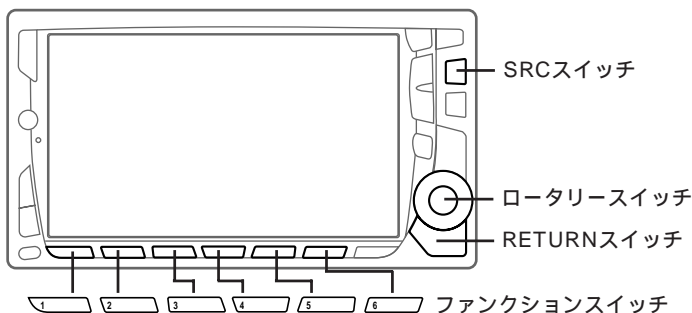


Memo

画面はサラウンド・モードのメイン画面です。
詳しくは、操作説明ページも合わせてご覧ください。



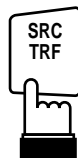
サラウンド・モードを選ぶ



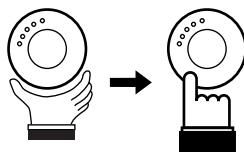
サラウンド・モード(メーカー設定)を選ぶ


本機は、DSP(デジタル・シグナル・プロセッシング)を使って様々な音響空間を作り出すことができます。色々な音楽ソースに応じて6種類のサラウンド・モードを選ぶことができます。

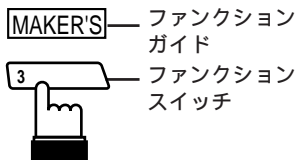
- 1 SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。





- 2 ロータリースイッチを回して、ソース選択画面のSUR(サラウンド)モードを選びます。
ロータリースイッチを押して、確定します。
サラウンド・モード・メイン画面に切りかわります。



- 3  (MAKER'S)スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容が切りかわります。



- 4 希望するサラウンド・モードを選び対応している  (NORMAL) ~  (DANCE) スイッチのいずれかを押します。

サラウンド・モードは、あらかじめ設定されている6種類(NORMAL、STADIUM、LIVE、HALL、CHURCH、DANCE)の中から選べます。



- 5 設定が終わったらRETURNスイッチを押します。
サラウンド・モード・メイン画面に戻ります。



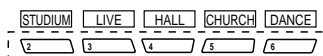


自分でサウンド・レベル / タイムを調整する

- 1** サウンド・モード時、**1** (MAKER'S) スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容がわかります。



- 2** 調整したいサウンド・モード (NORMAL 以外) に対応している、**2** (STADIUM) ~ **6** (DANCE) スイッチのいずれかを押します。



- 3** RETURNスイッチを押して、サウンド・モード・メイン画面へ戻します。



- 4** **4** (TIME) スイッチを押します。
サウンド・タイム調整モードになります。
ロータリースイッチを左右に回して、お好みのサウンド・タイム (残響時間) に調整します。
サウンド・タイムは、- 4 ~ +4 までの段階に調整することができます。



- 5** **5** (LEVEL) スイッチを押します。
サウンド・レベル調整モードになります。
ロータリースイッチを左右に回して、お好みのサウンド・レベルに調整します。
サウンド・レベルは、- 6 ~ +6 までの段階に調整することができます。

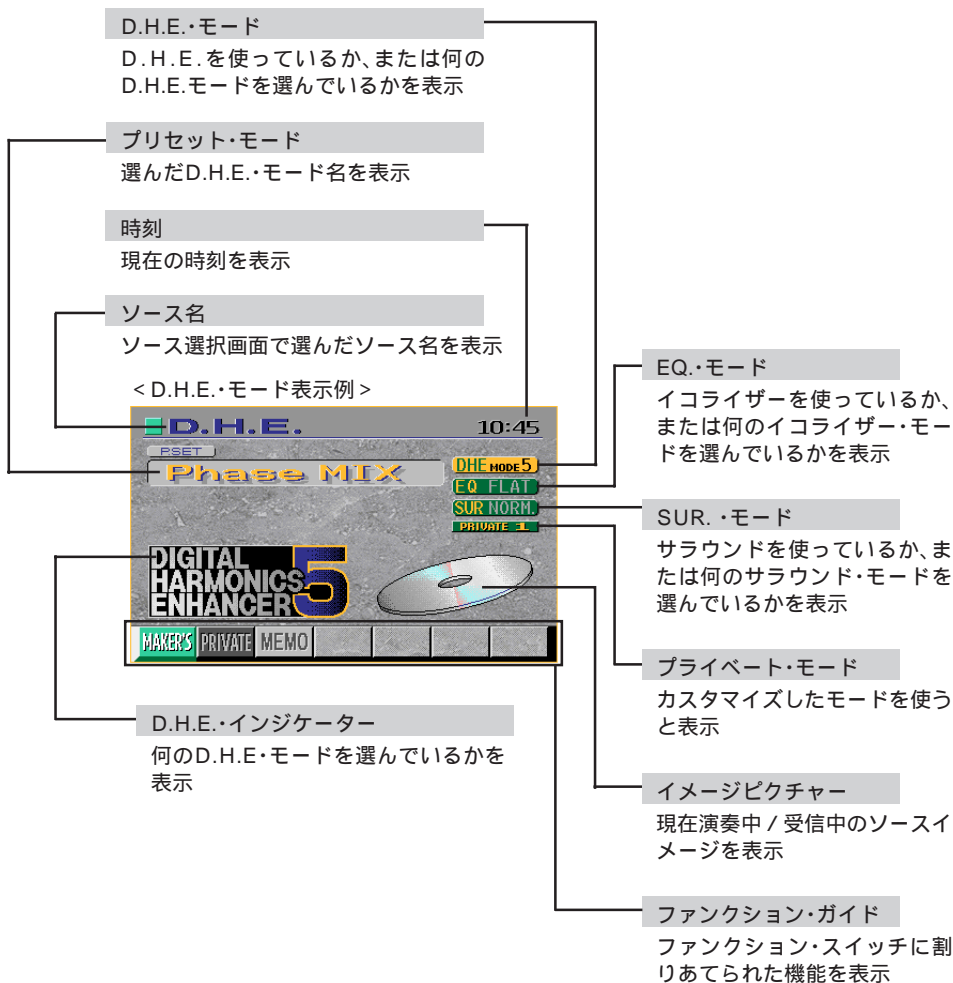


- 5** 調整が終わったら、RETURNスイッチを押して確定します。
サウンド・モード・メイン画面に戻ります。



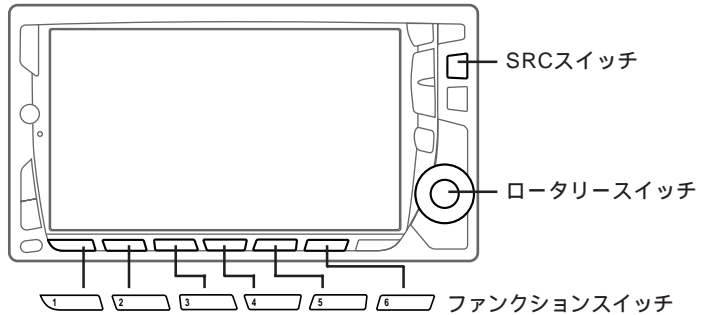
DHE D.H.E.モード・ディスプレイ表示について

D.H.E.モードを操作するために、ディスプレイ表示を理解しましょう。下図をよくお読みの上、操作説明に読み進んで下さい。



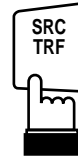
Memo

画面はD.H.E.モードのメイン画面です。
詳しくは、操作説明ページも合わせてご覧ください。

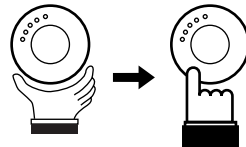


D.H.E.モードを選ぶ

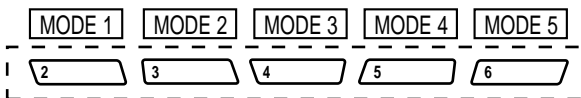
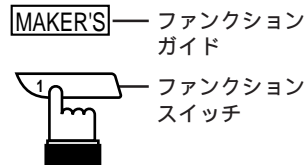
- 1 SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2 ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のD.H.E.モードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
D.H.E.モード・メイン画面に切りかわります。



- 3 1 (MAKER'S)スイッチを押します。
ファンクションガイドの内容が切りかわります。
希望するD.H.E.モードを選び、対応している2 (MODE1) ~ 6 (MODE5)スイッチのいずれかを押します。
1 (OFF)スイッチを押すと、D.H.E.機能は解除されます。



DHE

D.H.E.モードを選ぶ

Beat MAX (MODE1)

特にリズム系BASSを強調し、ノリの良い低音を再現します。

Lyric MIX (MODE4)

車室内において女性ボーカルをよりクリアに再現します。

Lyric MAX (MODE2)

女性ボーカルを特に際立たせて艶やかに再現します。

Beat MIX (MODE3)

車室内においてバランスの取れたノリの良い低音を再現します。

Phase MIX (MODE5)

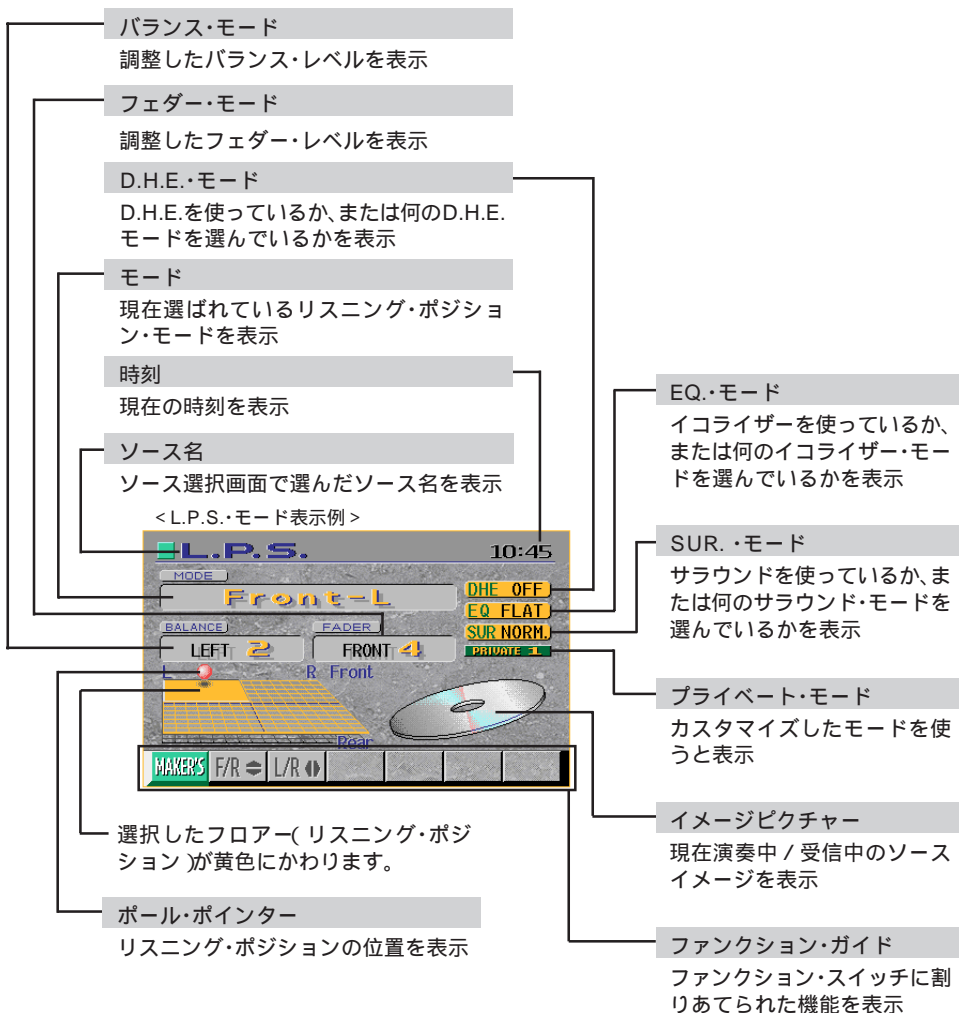
どんなジャンルを聴いても、バランスの取れた明瞭度のある音楽を再現します。

D.H.E(Digital Harmonics Enhancer)は、各楽器やボーカルの音を際立たせ、走行騒音の多い車内に於いても音楽をクリアに再生することができます。詳しくは、「D.H.E.について」(84ページ)を参照してください。



リスニング・ポジション・モード・ ディスプレイ表示について

リスニング・ポジション・モードを操作するために、ディスプレイ表示を理解しましょう。下図をよくお読みの上、操作説明に読み進んでください。



L.P.S.の操作

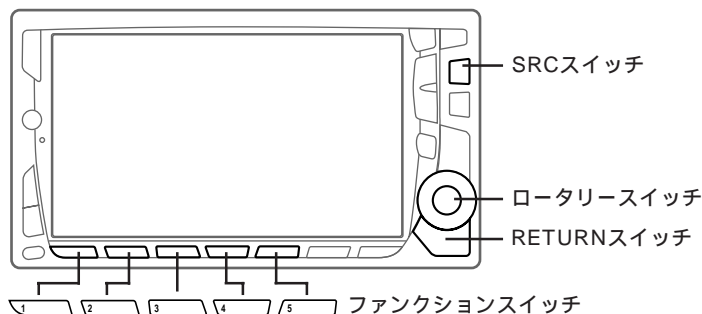


Memo

画面はリスニング・ポジション・モードのメイン画面です。
詳しくは、操作説明ページも合わせてご覧ください。



リスニング・ポジションを合わせる L.P.S.

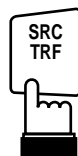


リスニング・ポジションを合わせる

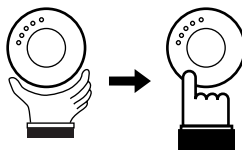
L.P.S. (リスニング・ポジション・セクター)

音場を聴きやすい位置に移動でき、どの座席からも自然な広がりのあるサウンドが楽しめます。

- 1 SRC (ソース) スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



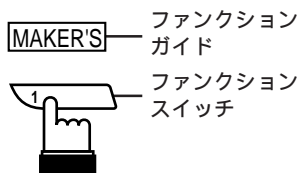
- 2 ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のL.P.S. (リスニング・ポジション) モードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
L.P.S. モード・メイン画面に切りかわります。



- 3 1 (MAKER'S) スイッチを押します。ファンクションガイドの内容が切りかわります。希望する音場 (リスニング・ポジション) を選び、対応している 2 (ALL) ~ 5 (FRONT/RIGHT) スイッチのいずれかを押します。

ボールポインターは、リスニング・ポジションの位置を表示します。

1 (OFF) スイッチを押すと、解除されます。



ALL 全てのフロアー
FRONT ... 前方のフロアー

FRONT/LEFT 前方の左側
FRONT/RIGHT ... 前方の右側



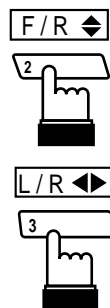
- 4** 設定が終わったら、RETURNスイッチを押します。
L.P.S.モード・メイン画面に戻ります。



リスニング・ポジションの調整

- 1** L.P.S.モード時、調整したい音場を選びます。「リスニング・ポジションを合わせる」の操作の後、入力してください。

2 (F / R ◆) スイッチまたは 3 (L / R ◀▶) スイッチを押し、調整したいリスニング・ポジションを選びます。



- 2** ロータリースイッチを回して、お好みの位置に調整します。
前後左右に、各4段階の調整ができます。



- 3** 調整が終わったら、ロータリースイッチを押して、確定します。
L.P.S.モード・メイン画面に戻ります。

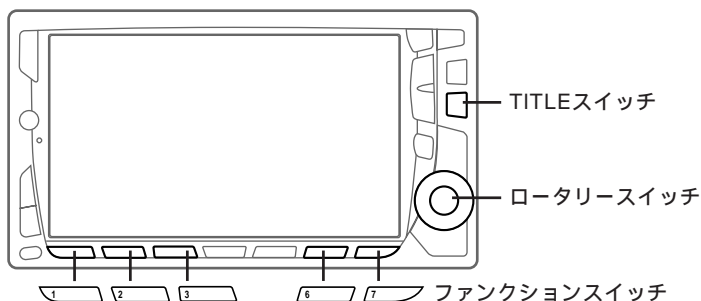


Memo

F/R ◆ を選ぶ...ロータリースイッチを回すと、前後にボール・ポインターが移動します。
L/R ◀▶ を選ぶ...ロータリースイッチを回すと、左右にボール・ポインターが移動します。



タイトルをつける (TITLE)

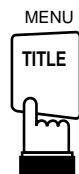


タイトルをつける (TITLE)

お好みのラジオ放送局、TV放送局、CDにタイトルをつけることができます。ここでは、「ラジオ放送局にタイトルをつける」を例に操作説明します。

1 ラジオ・モード時、タイトル入力を行う放送局を選びます。

2 TITLEスイッチを押します。
タイトル入力画面に切りかわります。



3 ディスプレイに文字記号が表示されます。
ロータリースイッチを回しながら、カーソルを入力する文字記号に設定します。
[3] (A/1/ア) スイッチを押すごとに、アルファベット / 数字 / 記号 / カタカナと切りかえることができます。



タイトルをつける (TITLE)



- 4** ロータリースイッチを押します。
ディスプレイの1桁目が入力されます。

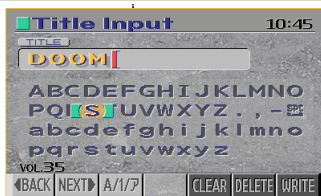
1 (◀BACK または、2 (NEXT▶)

スイッチを押すと、入力されたタイトル上の
カーソルが左右に移動します。

6 (DELETE) スイッチを押すと、1つ前
の文字を消去します。



- 5** 3、4を繰り返し、10桁まで入力できます。



- 6** 7 (WRITE) スイッチを押して確定しま
す。

ラジオ・モード・メイン画面に戻ります。
他の放送局にタイトルをつけるときも同様です。
入力されたタイトルが記憶され、受信中表示さ
れます。

WRITE



プリセット・リスト・メニュー画面(ステーション・タイトル・リスト)、ディスク・タイ
トル・リスト表示画面のとき、ファンクション・スイッチ 1 (INPUT) を押して、タイ
トル入力画面に切りかえることもできます。

CDモードのときは、6 (INPUT) スイッチを押します。



Memo

タイトル入力画面時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面へ戻ることができます。
ラジオ放送局は最高24局(FM/AM合わせて)、TV放送局は最高54局まで、タイトルをつ
けることができます。

CDチェンジャーの場合は、8桁までの入力で、機種によってメモリー数が異なります。
タイトルが入力されていない場合は、'NO TITLE' と表示します。

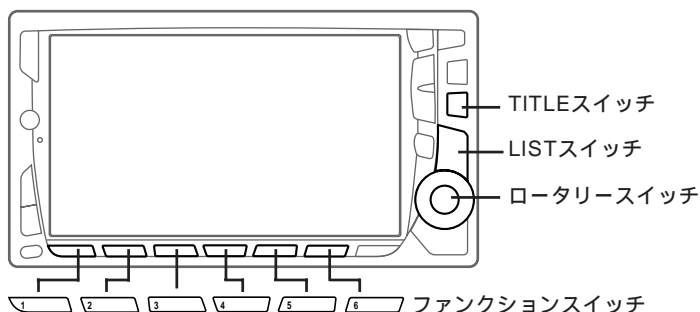
誤って入力した場合は、文字記号の SPC (スペース) を選び、上記操作手順同様に入力しま
す。または、5 (CLEAR) スイッチを押すと、入力中のタイトルを消去することがで
きます。

ディスプレイに" FULL DATE "と表示されたときは、メモリーがいっぱいになっていま
す。このときに、新しいタイトルを入力すると最初に入力した一番古いタイトルが消え、
新しいタイトルがメモリーされます。

記憶した内容は、バッテリー電源コードを外すと、消去される場合もありますのでご注意
ください。



記憶したタイトル名を消す



記憶したタイトル名を消す

ここでは、「ラジオ放送局に記憶したタイトル名を消す」を例に説明します。

- 1 ラジオ・モード時、TITLEスイッチを2秒以上押します。
タイトルクリア画面に切りかわります。



- 2 ロータリースイッチを回しながら、カーソルを消したいタイトル名に設定します。



- 3 ロータリースイッチを押します。
タイトル名は消去されます。



- 4 タイトル・クリア・モードを終了させるには、LISTスイッチを押します。
ラジオ・モード・メイン画面に戻ります。





プリセット・リスト・メニュー画面(ステーション・タイトル・リスト)、ディスク・タイトル・リスト表示画面のとき、ファンクション・スイッチ (INPUT) を2秒以上押して、タイトルクリア画面に切りかえることもできます。

CDモードのときは、 (INPUT) スイッチを2秒以上押します。



Memo

タイトル・クリア画面時、RETURNスイッチを押すと、1つ前の画面へ戻ることができます。

カーブを記憶する

メーカー設定および自分で作ったカーブを記憶させることができます。

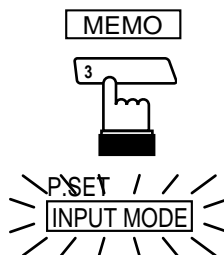
(46ページから53ページ参照)

1

メーカー設定を選ぶか、または自分でカーブを作った後、 (MEMO) スイッチを押します。

ファンクションガイドの内容が切りかわります。

プリセット・モード表示部に「INPUT MODE」と表示され点滅します。



2

(P.SET 1) ~ (P.SET 6) スイッチのいずれか1つを押します。

これで選んだカーブが記憶されます。

さらに記憶するには、上記手順をくり返します。



(PRIVATE) スイッチを押して、カーブを記憶することもできます。

1. (PRIVATE) スイッチを押します。

ファンクションガイドの内容がかわります。

2. (P.SET 1) ~ (P.SET 6) スイッチのいずれか1つを2秒以上押します。

プリセット・モード表示部に「INPUT MODE」と表示され点滅します。

3. 記憶させたいファンクションスイッチ (P.SET 1) ~ (P.SET 6) を押します。
選んだカーブが記憶されます。



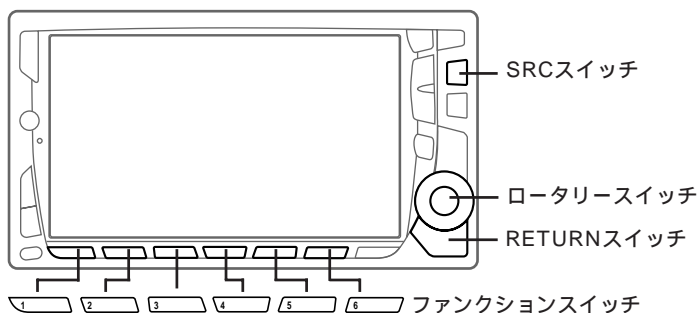
Memo

本機のメモリー機能には、D.H.E.サラウンド、イコライザーの状態を同時に記憶させることができます。

便利な機能



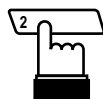
記憶したカーブを呼び出す MAKER'S/PRIVATE切り換え



記憶したカーブを呼び出す

- 1 D.H.E. / サラウンド / イコライザーモード時、**2** (PRIVATE) スイッチを押します。

PRIVATE



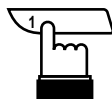
- 2 呼び出したい、**1** (P.SET 1) ~ **6** (P.SET 6) スイッチのいずれかを押します。選択した特性が呼びだされます。



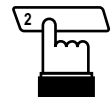
MAKER'S/PRIVATE切り換え

- 1 EQモード時、**1** (MAKER'S) スイッチを押します。
MAKER'S設定に表示がかわります。
2 (PRIVATE) スイッチを押します。
PRIVATE設定に表示がかわります。

MAKER'S



PRIVATE



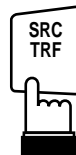
MAKER'S、PRIVATE設定表示のとき、**7** (PRIVATE/MAKER'S) スイッチを押しても切りかえができます。
サラウンド / D.H.E. モード時も、上記操作同様にMAKER'S/PRIVATEの切りかえができます。



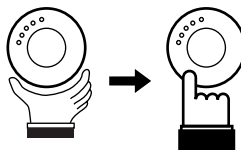
サウンドガイド機能



スイッチを押したときに「BEEP」を鳴らして、操作を受けつけた事を伝えます。

- 1 SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2 ロータリースwitchを回し、ソース選択画面のINTLZ(イニシャライズ)モードを選びます。ロータリースwitchを押して、確定します。
INTLZモード・メイン画面に切りかわります。



- 3  (BEEP)スイッチを押します。
ディスプレイにBEEP ONを表示します。
再度、 (BEEP)スイッチを押すとBEEP OFFになり、スイッチを押しても音が出なくなります。

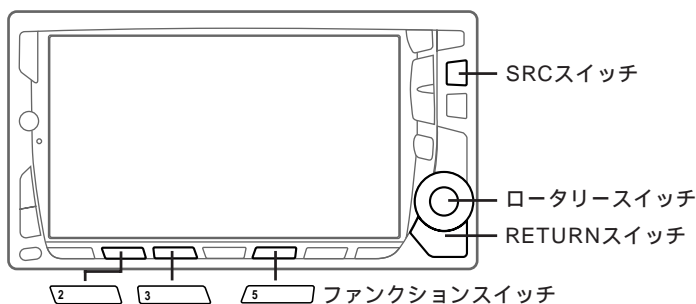


- 4 設定が終わったら、RETURNスイッチを押します。
通常モードに戻ります。



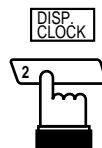


時刻を表示する 時刻を設定する



時刻を表示する

- 1** INTLZ(イニシャライズ)モード時、**2** (DISP.CLOCK)スイッチを押します。
時刻が表示されます。
押すたびにON/OFFが切りかわります。

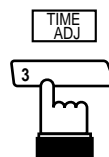


Memo

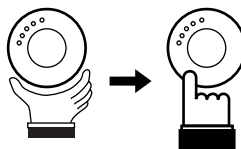
エンジン停止中に長時間ご使用になると、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなる恐れがあります。

時刻を設定する

- 1** INTLZ(イニシャライズ)モード時、**3** (TIME ADJ)スイッチを押します。
時計調整モードになります。



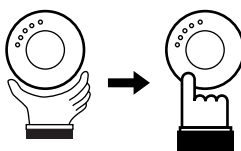
- 2** ロータリースイッチを左右に回して、「時」を合わせ、ロータリースイッチを押して「時」を確定します。



割り込み機能(MIX LEVEL)



- 3** ロータリースイッチを左右に回して、「分」を合わせ、ロータリースイッチを押して「分」を確定します。



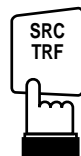
時報にあわせたいとき、 (TIME RESET)スイッチを押すと、分表示が00となります。

「:30」を越えた表示のときに (TIME RESET)スイッチを押すと「時」は繰り上がります。

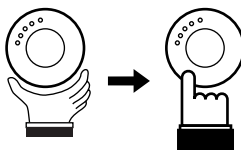
割り込み機能(MIX LEVEL)

当社のナビゲーション製品(ディスプレイコントロール、ガイドコントロールを接続したナビゲーション)と組み合わせた場合、CDやラジオなどを聴いていても、ナビゲーション側の音声案内を本機に割り込ませることができます。また、音声案内の音量を設定できます。

- 1** SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2** ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のINTLZ(イニシャライズ)モードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
INTLZモード・メイン画面に切りかわります。



- 3** (MIX LEVEL)スイッチを押します。
押すごとに、MID HIGH OFF LOWと切りかわります。

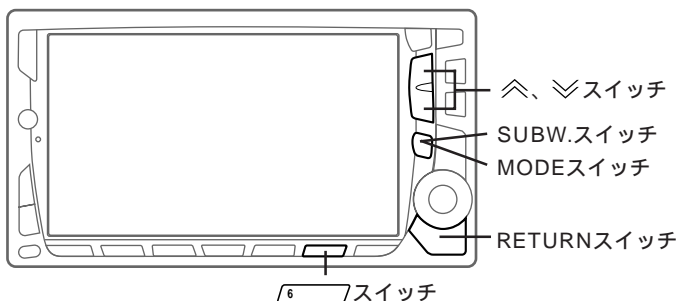


- 4** 設定が終わったら、RETURNスイッチを押します。
通常モードに戻ります。





ダイバーシティの対応 デモンストレーション機能

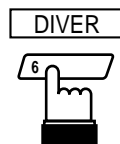


ダイバーシティの対応

ダイバーシティ・アンテナ車の場合 **FM DIVERSITY ON** にしてください。

走行中の電波に応じて、受信状態の最もよいアンテナを複数のアンテナから自動で選択し、常に安定した受信状態にします。

- 1 INTLZ(イニシャライズ)モード時、**6** (DIVER)スイッチを押します。
押すたびに、ダイバーシティのON/OFFが切りかわります。



- 2 設定が終わったら、RETURNスイッチを押してください。通常モードに戻ります。



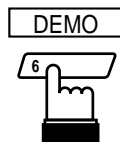
Memo

ダイバーシティ・アンテナ以外の車の場合 **FM DIVERSITY OFF** にしてください。

デモンストレーション機能


本機には、各ソースの基本的な動作をディスプレイに表示させるデモンストレーション機能が用意されています。

- 1 INTLZ(イニシャライズ)モード時、**6** (DEMO)スイッチを押します。デモンストレーション・モードになり、動作を自動的に行います。



サブウーハーレベルを調整する



- 2 解除するには、 (DEMO)スイッチを押します。



Memo

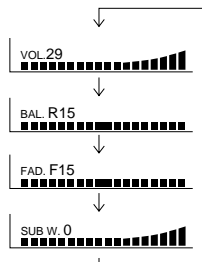
解除しないかぎり、デモンストレーションの動作は、自動的に繰り返します。

サブウーハーレベルを調整する (サブウーハーと組み合わせた場合)



- 1 SUBW.スイッチを2秒以上押して、サブウーハー・インジケータを点灯(ON)させます。
押すごとに、サブウーハー・インジケータの点灯(ON)/ 消灯(OFF)が切りかわります。



- 2 MODEスイッチを押して、SUBW.モードを選択します。



便利な機能

- 3 、を押して、サブウーハーの出力レベルを調整します。



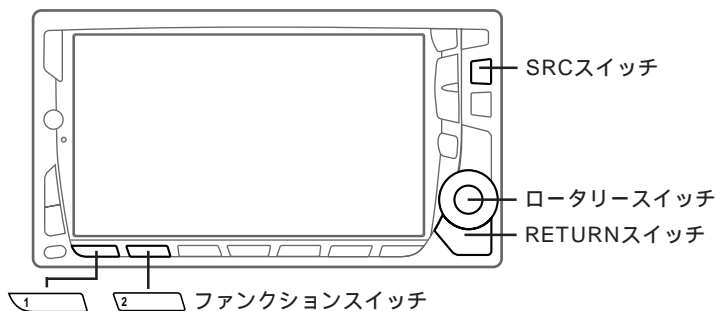
Memo

不明な点は販売店もしくは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。
サブウーハーを接続する場合、ローパスフィルター*内蔵のアンプが必要です。

*... 一定の周波数以下の成分を通すフィルターで、音声信号に含まれる可聴帯以上の成分を取り除く。



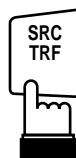
映像を調整する



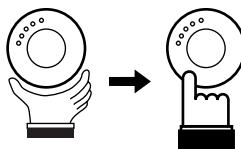
映像を調整する

明るさを調整する

- 1 SRC (ソース) スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2 ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のDISPLAYモードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
DISPLAYモード・メイン画面に切りかわります。



- 3 (BRIGHT) スイッチを押します。
BRIGHT調整モードになります。



- 4 ロータリースイッチを左右に回して、明るさを調整します。





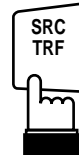
- 5** 調整が終わったら、RETURNスイッチを押してください。通常モードに戻ります。



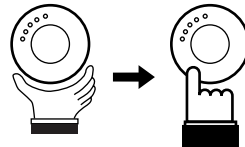
映像を調整する


色あいを調整する

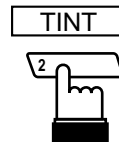
- 1** SRC(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2** ロータリースwitchを回し、ソース選択画面のDISPLAYモードを選びます。ロータリースwitchを押して、確定します。
DISPLAYモード・メイン画面に切りかわります。



- 3**  (TINT)スイッチを押します。
TINT調整モードになります。



- 4** ロータリースwitchを左右に回して、色合いを調整します。



- 5** 調整が終わったら、RETURNスイッチを押してください。通常モードに戻ります。

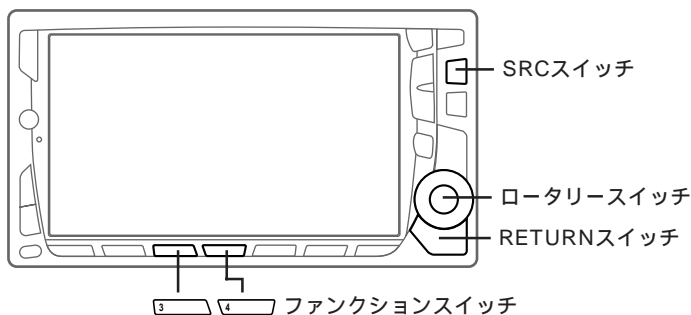


Memo

色あいの調整は、TV、AUX1(NAV.)、AUX2のみ可能です。



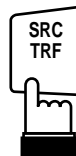
映像を調整する



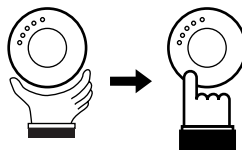
映像を調整する

色の濃さを調整する

- 1** SRC (ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。



- 2** ロータリースイッチを回し、ソース選択画面のDISPLAYモードを選びます。ロータリースイッチを押して、確定します。
DISPLAYモード・メイン画面に切りかわります。



- 3** **3** (COLOR)スイッチを押します。
COLOR調整モードになります。



- 4** ロータリースイッチを左右に回して、色の濃さを調整します。



バックグラウンドを切りかえる



- 5** 調整が終わったら、RETURNスイッチを押してください。通常モードに戻ります。



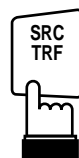
Memo

色の濃さの調整は、TV、AUX1 (NAV.)、AUX2のみ可能です。

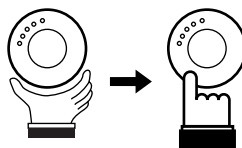
バックグラウンドを切りかえる (BACKGND)

BACKGNDは、あらかじめ設定されている6種類(石目タイプ、空模様タイプ、WOODタイプ、グラデーションタイプ、銅タイプ、エメラルドタイプ)の中から選べます。


- 1** SRQ(ソース)スイッチを押します。
ソース選択画面に切りかわります。

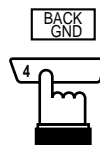


- 2** ロータリースイッチを回して、ソース選択画面のDISPLAYモードを選びます。ロータリースイッチを押して確定します。
DISPLAYモード・メイン画面に切りかわります。



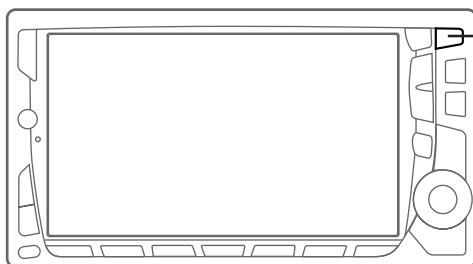
便利な機能

- 3**  (BACKGND)スイッチを押します。
押すたびに6種類のバックグラウンドが切りかわります。





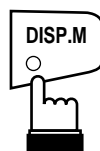
表示モードを切りかえる



DISP. Mスイッチ

表示モードを切りかえる

- 1** TV、AUXモード時、DISP.Mスイッチを押します。
押すごとに、モードが切りかわります。



ワイド

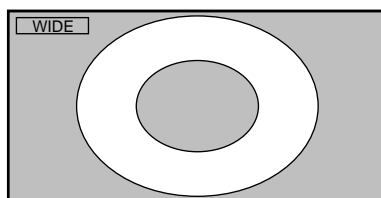
ズーム

ダイナミック

シネマ

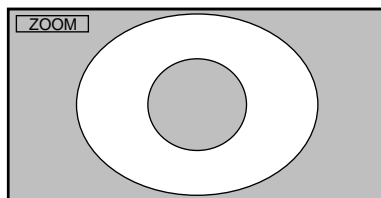
ノーマル

ノーマル映像を水平方向に均等に広げ、画面いっぱいに表示します。



ワイド(WIDE)

ノーマル映像の画面中央を少し広げ、水平方向に不自然にならないように画面いっぱいに表示します。

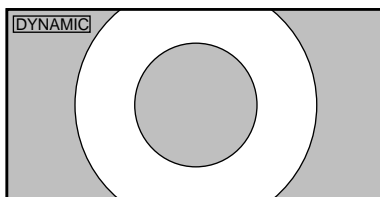


ズーム(ZOOM)

表示モードを切りかえる

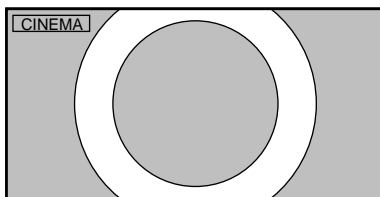


ノーマル映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面いっぱいにし、垂直方向に拡大します。
上下方向は一部切れて表示します。



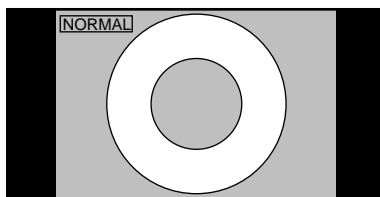
ダイナミック(DYNAMIC)

ノーマル映像を水平・垂直両方向に拡大します。
16:9のシネマサイズの映像に適しています。



シネマ(CINEMA)

通常のテレビ放送(4:3)の映像は中央に映ります。(ノーマル映像)



ノーマル(NORMAL)

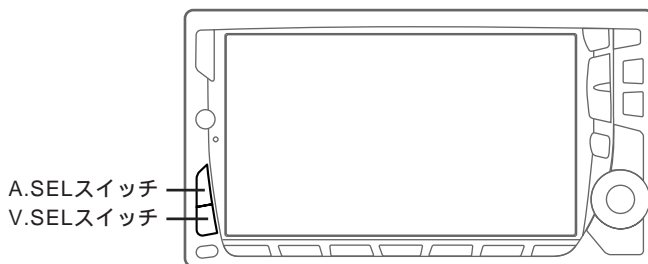


Memo

TVモード時、表示モードを切りかえたあと、ファンクションスイッチ **1** ~ **6** のいずれかを押すと記憶された放送局をダイレクトに呼び出すことができます。



サイマル機能にする



サイマル機能にする

- 1** 現在の映像ソースをそのままに、音声ソースを切りかえるには：
A.SELスイッチを押します。
押すごとに音声が切りかわります。



映像 <例>

TV画面	TV画面	TV画面	TV画面	TV画面	TV画面	TV画面
TV	NAV.	AUX	RADIO	CD	CHG.	MD

音声



Memo

映像ソースが、TV、AUX 1(NAV.)、AUX 2画面時のみこの操作ができます。

- 1** 現在の音声ソースをそのままに、映像ソースを切りかえるには：
V.SELスイッチを押します。
押すごとに映像が切りかわります。



映像 <例>

CD画面	TV画面	*AUX1	AUX2
CD	CD	CD	CD

音声

* ナビゲーションが接続されている場合は、ナビゲーション画面になります。

- 2** サイマル機能を解除するには、A.SELスイッチまたは、V.SELスイッチを2秒以上押します。





使用時のご注意

可動ディスプレイが開いた状態では、リモコン操作ができない場合があります。

リモコンは、リモコン送信部をリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。

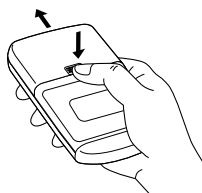
リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。

リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。

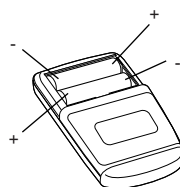
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。

電池を入れる

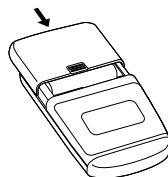
- 1 フタを開ける
フタを少し強めに押しながら外側へ押してください。



- 2 電池を入れかえる
本体の +、- 表示通り入れてください。



- 3 フタを閉める
“カチッ”と音がして固定されます。



Memo

電池は単4乾電池 (UM-4) × 2 をご使用ください。

リモコンで操作する

警告

運転中は操作をしない・表示を見ない

運転者は走行中に操作をしたり表示を見たりしないでください。走行中に操作をすると前方不注意となり事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させてください。



リモコンで操作する

基本操作

音量調整スイッチ

音量を大きくします。... スイッチ

音量を小さくします。... スイッチ

ミュートスイッチ

各瞬時に20dB音量を下げます。再度押すと解除します。

電源スイッチ

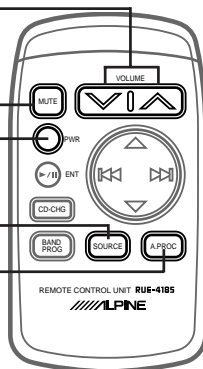
電源のON/OFFを行います。

オーディオ・ソース選択スイッチ

オーディオ・ソースを切りかえます。

オーディオ・プロセッサ・スイッチ

イコライザー / サラウンド等のモードを切りかえます。



CD / CDチェンジャーを操作する

ミュージック・センサー・スイッチ

曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。

手前の曲の頭出しを行います。

DISCセレクト・スイッチ

ディスクNo. が切りかわります。

プレイ / ポーズ・スイッチ

プレイ / ポーズの切りかえを行います。

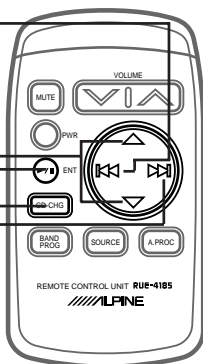
CDチェンジャー・スイッチ

CDチェンジャー操作に切りかえます。

ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。

す。



MD / MDチェンジャーを操作する

ミュージック・センサー・スイッチ

曲の頭に戻ります。押し続けると早戻しします。

手前の曲の頭出しを行います。

DISCセレクト・スイッチ

ディスクNo. が切りかわります。

プレイ / ポーズ・スイッチ

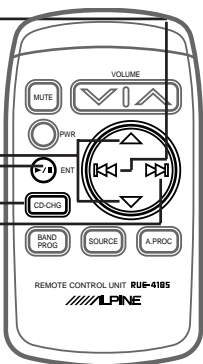
プレイ / ポーズの切りかえを行います。

MDチェンジャー・スイッチ

MDチェンジャー操作に切りかえます。

ミュージック・センサー・スイッチ

次の曲の頭に進みます。押し続けると早送りします。



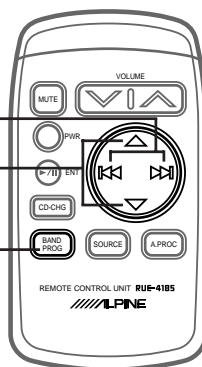


ラジオを操作する

チューニング・スイッチ
放送局を選びます。
押すごとに周波数が変わります。(SEEK)

プリセットNo. 切替スイッチ
プリセットNo. を切りかえます。

バンド・スイッチ
バンドを切りかえます。

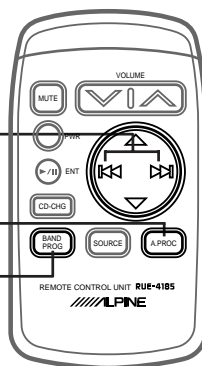


イコライザー / サラウンドを操作する

メーカー設定選択スイッチ
オーディオ・プロセッサー・スイッチを押した後、
各モードのメーカー設定や、記憶したカーブの選
択を行います。

オーディオ・プロセッサー・スイッチ
押すごとにモードを切りかえます。

メーカーズ / プライベート切り替えスイッチ
押すごとにメーカーズとプライベートの設定を切りかえま
す。



ディスクの取り扱い

ディスクはデリケートなものです。ディスクの取り扱いにあたっては、次のことを守ってお使いください。

正しい持ち方

- ディスクは落とさないでください。
- 表面に指紋をつけないようにお持ちください。
- テープやラベルなどを貼らないでください。
- ディスクの上で字を書いたりしないでください。



お手入れ

表面に指紋、ほこりなどが付くと音飛びの原因となります。

柔らかい、きれいな布で、ディスクの中心から外側へ拭きとってください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布を中性洗剤で湿らせてから、から拭きしてください。



市販のアクセサリーについて

ディスクの表面を保護したり、音質の向上を目的とした市販のアクセサリーは、なるべく使用しないでください。

ディスクの大きさや厚みに影響を及ぼし、故障の原因になることがあります。

ミニディスクとは

カートリッジの中に直径64mmのディスクが収められたもので取り扱い性に優れています。ディスクに触れずに信号を読み取りますので、テープのように絡んだり音質が劣化することがありません。記録方式はATRAQ(Adaptive TRansform Acoustic Coding)と言う圧縮技術を利用して音楽データを約1/5にしてありますが、CDに迫る音質を実現しています。

取り扱い

ミニディスクはカートリッジに収納されているためホコリや指紋が付く心配がありません。ただし、カートリッジの汚れがすき間から入ったり、正しい取り扱いをしないと誤動作の原因になることがありますので、次のことを守ってお使いください。

シャッターを開けない

内部にさわらない

ホコリやごみが付いたら拭きとる

(外側や裏面中央の円形部)

直射日光下に置かない

砂やホコリが入りやすい場所には置かない

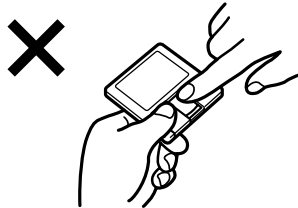
ラベルは正しい位置に貼る

ラベルは一枚だけ貼る

ラベルははがれないように貼る

聴かないときはケースに入れて保管する

シャッターを開けない



故障かな？と思ったら

本機の調子が悪いときは、修理を依頼する前にもう一度、次のことをチェックしてみてください。それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターにご相談ください。

症 状		原 因	処 置
共通部	動作しない。 ディスプレイに何も表示されない。	車のイグニッション・キーがOFFになっている。	車のイグニッション・キーをONにする。
		本機の電源が入っていない。	本機のPWRを押して電源を入れる。
		電源コードの接続が不完全。	電源コードの接続を確実に行う。
		ヒューズが切れている。	規定容量のヒューズと交換する。
ラジオ部	電源は入るが音が出ない。	音量レベルが最小になっている。	音量レベルを上げる。
	受信できない。	アンテナが接続されていない。 または伸びていない。	アンテナが確実に接続されているか確認する。
	自動的に放送局を選べない。	アンテナの長さが適切でない。	アンテナを十分に伸ばす。 破損している場合は、新しいものと交換する。
	雑音が入る。	アンテナのアース線の接続が不完全。 電波が弱く、雑音が多い。	アンテナのアース線を確実に接続する。 雑音が少なくなるまで、別の放送局を受信する。
CD部	演奏が始まらない。	車内温度が50 以上ある。	車内温度を適温まで下げてから、演奏させる。
	音が歪む。	プレイヤーの内部に水滴が付いている。	完全に露がとれてから、(約1時間後)使う。
	早送り／早戻しができない。	ディスクに傷が付いている。	ディスクを取り替える。傷ついたディスクを使い続けると、故障の原因になります。
	振動で音が飛ぶ。	本機が正しく付けられていない。	正しく取り付け直す。
	振動がないのに音が飛ぶ。	ディスクがひどく汚れている。傷がついている。	ディスクをクリーニングする。傷ついたディスクは取り替える。
MD部	ミニディスクが入らない。	すでに別のミニディスクが入っている。	ミニディスクを取り出してから入れ直す。
		ミニディスクの入れ方が間違っている。	本書を参照し、正しく入れる。
	振動で音が飛ぶ。	本機が正しく取り付けられていない。	正しく取り付け直す。
	振動がないのに音が飛ぶ。	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。	ディスクを交換する。
	演奏が始まらない。	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。 結露している。	ディスクを交換する。 しばらく放置してから使う。

故障かな？と思ったら

表 示		原 因	処 置
CD/CDチェンジャー部オプション	HIGH-TEMP	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。
	NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
	NO MAGAZINE	マガジンがCDチェンジャーにセットされていない。	マガジンをCDチェンジャーにセットする。
	ERROR	ディスクがマガジンに戻っていない。	イジェクト・スイッチを押す。 空のマガジンを入れ、もう一度イジェクト・スイッチを押しディスクを回収する。
		メカニズムエラー。	イジェクト・スイッチを押す。 表示が消えたら、ディスクを入れ直したマガジンを再度挿入する。 それでも復旧しない... サービスショップへ。
MDヘッドユニット部	NO DISC	ミニディスクが入っていない。	ミニディスクを入れる。
	ERROR	ディスク傷、ディスク汚れ。 録音状態が良くない。 未録音ディスク。 音楽用ディスクでない。	イジェクトスイッチを押して、ディスクを交換する。
		ディスクの方向が間違っている。	イジェクトスイッチを押して、正しい向きに入れ直す。
		結露している。	しばらく放置する。
		メカニズムエラー。	イジェクトスイッチを押して、ディスクを取り出す。 イジェクトできないときはサービスショップへ。 ディスクを取り出してもエラー表示が消えない場合は、もう一度イジェクトスイッチを押す。何度押してもエラー表示が消えない場合はサービスショップへ。
	HIGH-TEMP	車内温度が高すぎる。	車内温度を適温まで下げる。



Memo

「ERROR」表示時の処置

イジェクトスイッチを押してもディスクが取り出せない場合は、リセット・スイッチ（10ページ参照）を押してから再度イジェクトスイッチを押してください。

それでも取り出せないときは、お買い上げ店またはサービスショップへ。

規 格

< モニター部 >

画面サイズ	5.8 インチ
液晶	透過型TN液晶
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	280,800個(1200×234)
照明方式	コの字型冷陰極蛍光管
外形寸法	178(幅)×182(奥行)×100(高さ)mm(収納時)
重量	3kg

< ラジオ・チューナー部 >

受信周波数	FM:76.0～90.0MHz AM:522～1,629kHz
実用感度	9.3dB(0.8μV/75)
セパレーション	FM 35dB以上
その他	AMステレオ FMダイバー

< CD部 >

方式	光学式 コンパクト・ディスク方式)
量子化ビット数	1ビット
チャンネル数	2チャンネル(ステレオ)
周波数特性	5Hz～20kHz(±1dB)
ダイナミック・レンジ	93dB(1kHz)以上
SN比	95dB(1kHz)以上
高調波歪率	0.01%(1kHz)以下
チャンネル・セパレーション	86dB(1kHz)以上
ワウフラッター	測定限界以下

< MD部 >

SN比	90dB
全高調波歪率	0.01%以下(1kHz)
チャンネル・セパレーション	85dB以上
ワウフラッター	測定限界以下

< イコライザー部 >

バンド数	7
イコライザー周波数	63Hz/160Hz/400Hz/1kHz/2.5kHz/6.3kHz 16kHz 各±10dB)

< アンプ部 >

最大出力	40W×4
------------	-------

< TVチューナー部 >

アンテナ入力	4chダイバー(75)
受信方式	NTSCカラー方式
回路方式	PLL周波数シンセサイザー
受信チャンネル	VHF1～12ch、UHF13～62ch
S/N比 (ビデオ)	40dB
(オーディオ)	50dB
実用感度	40dBμV
外形寸法	150(幅)×80(奥行)×25(高さ)mm
重量	270g

< リモコン部 >

使用電源	DC1.5V×2(UM-4)
外形寸法	56(幅)×14(高さ)×105(奥行)mm
重量	50g(電池は含まれない)

品 名	数 量
取り付け用部品類	1式
電源コード	1
リモコン	1
電池(単4)	2
取扱説明書・保証書類	1式

製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証書について

この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
必ず「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いとき まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪いとき 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買い上げ店、またはお近くのサービス・ショップに、修理を依頼してください。
保証期間中の修理 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
補修用性能部品 製造打切り後でも、最低6年間保有しています。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店またはサービス・ショップ、アルパイン・サービスセンターなどにお問い合わせください。

D.H.E.について

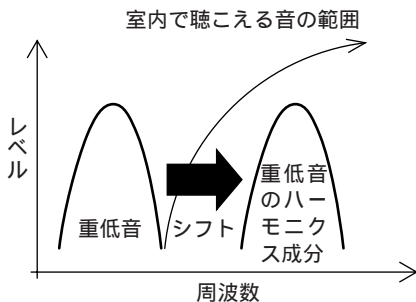
MDは、高度な圧縮技術「ATRAC」により直径64mmのディスクに最長74分もの録音を可能にした。「ATRAC」は、マスキング効果（小さい音は大きい音に隠れて聴こえなくなってしまう）や最小可聴次元性とよばれるヒアリング・スレッショルド特性（低音域や高音域は中音域よりも聴こえにくい）を考慮して聴感上問題のない音のデータを取り去っているのだ。しかし聴感上問題は無いとはいえ、これは表情豊かな音楽再生に必要なハーモニクス成分もカットしているのである。

新開発D.H.E.(Digital Harmonics Enhancer)はここがすごい！

きわだつ重低音

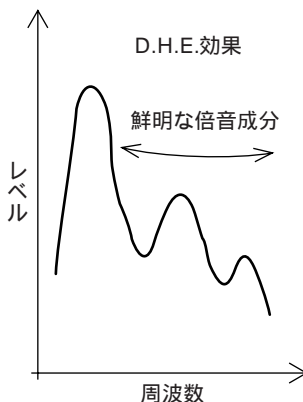
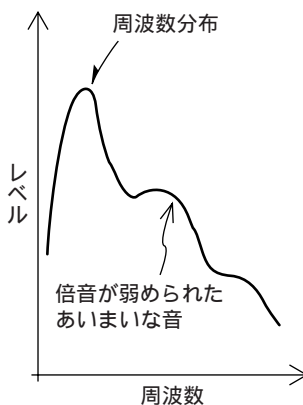
さまざまな制約の多い車室空間。ガラス/レザー/クロスなど音を吸収反射する素材に包まれたり、走行ノイズに邪魔されるなど音響空間としては問題が多い。更に低音を聴くためには大きな口径のスピーカーが必要だが、車内に確保するのは難しい。

D.H.E.は音楽中の低音成分から重低音部分の成分を抽出し車載スピーカーでも再生しやすい帯域にシフトすることで、今まで不可能だった重低音の再生を可能にした。



艶やかでみずみずしい音色の実現

音響的に音を特徴づけているのは「ハーモニクス(倍音)」と呼ばれているもの。基本周波数の奇数倍の振動で音色を決める重要なファクターである。D.H.E.は音楽からハーモニクス成分を抽出し、デジタル処理を施し、音楽を特徴づけている「ハーモニクス(倍音)」を強調する。表情が豊かになった音に必ず感動するはずだ。



原音をクリアに再現

イコライザーやサラウンド機能での補正は、音バランスの狂いや位相のズレなどで音がぼやけてしまうことがあった。その音楽自身から「ハーモニクス(倍音)」を抽出しデジタル処理するD.H.E.は、そのような問題は一切起こらない。シャープな音像、クリアなセパレーションなど今まで味わえなかった「臨場感」を経験できる。

この音を楽しんでもらうために5つの「D.H.E.モード」を用意!

Beat MAX

リズム系ベースサウンドを強調。ノリの良い低音で迫る。

Lyric MAX

強く、艶やかに際立つ女性ボーカル。

Beat MIX

バランスの取れたノリのいいベースサウンド。

Lyric MIX

クリア、そしてリアルな女性ボーカル。

Phase MIX

バランス重視。あらゆるジャンルの音楽をクリアに再生。

[illegible]

お問い合わせ窓口

製品に関するご相談 / お問い合わせは、お買い上げになった販売店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。

修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。

ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。

製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

・FAX 03-3494-1767 TEL 03-3779-0711

・電話受付時間 平日 9:30 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

営業所・販社名	電話番号	住 所	営業所・販社名	電話番号	住 所
北関東営業所	028-636-2931	〒 321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 4 丁目 2 番 20 号 K Dビル	アルバイン九州(株)	092-513-1071	〒 816-0081 福岡県福岡市博多区并相田 1 丁目 12 番 22 号
東京営業所	045-541-7261	〒 223-0057 神奈川県横浜港市港区新羽町 1767 番地	営業1課(北都九州)	092-513-1072	〒 816-0081 福岡県福岡市博多区并相田 1 丁目 12 番 22 号
千葉営業所	043-271-5950	〒 262-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷 6 丁目 26 番地 須藤ビル 3F	営業2課(中九州)	0957-24-0116	〒 854-0061 長崎県諫早市宇都町 19 番地の 4
中部営業所	052-779-5655	〒 465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子3丁目108番地	長崎営業所	099-253-7215	〒 890-0034 鹿児島県鹿児島市土上 6 丁目 27 番 15 号
静岡営業所	054-283-0171	〒 422-8032 静岡県静岡市有東 3 丁目 9 番 1 号 2F	鹿児島営業所		
関西営業所	06-6386-4136	〒 564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	アルバイン関西(株)	0262-28-7970	〒 380-0921 長野県長野市大字栗田 314 番地の 3
アルバイン北海道(株)	011-621-4485	〒 064-0821 北海道札幌市中央区北 1 条西 22 丁目 2 番 1 号 上野ビル	長野営業所	0263-48-4772	〒 390-0852 長野県松本市島立830-11 深澤ビル102号
アルバイン東北(株)			松本営業所	0273-61-5813	〒 370-0703 群馬県高崎市緑町 3 丁目 16-6
仙台営業所	022-239-5331	〒 983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町3丁目9番5号	高崎営業所	0722-58-8111	〒 591-8023 大阪府堺市中西百舌鳥町 4 丁目 57 番地 サンライズ中西百舌鳥103号
盛岡営業所	0196-47-0115	〒 020-0133 岩手県盛岡市青山 2 丁目 23 番 7 号	滋賀営業所	0775-66-1140	〒 525-0036 滋賀県草津市草津町 1680 番地
秋田営業所	0188-65-4221	〒 010-0953 秋田県秋田市山王中園町 5-11	アルバイン新潟販売(株)	025-270-7021	〒 950-0862 新潟県新潟市竹尾 764 番地 6 号
郡山営業所	0249-25-3811	〒 963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池 11 番 5 号	アルバイン埼玉販売(株)	048-664-7701	〒 331-0852 埼玉県大宮市桜木町 3 丁目 179 番地
山形出張所	0236-45-5321	〒 990-0825 山形県山形市城北 2 丁目 10 番 8 号 笹川ビル 1F	東京アルバイン販売(株)	03-3253-2635	〒 101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1 の 13
アルバイン中四国(株)			アルバイン福井販売(株)	0776-53-1565	〒 910-0851 福井県福井市米松 2 丁目 24 番地 20 号
岡山営業所	086-243-8257	〒 700-0975 岡山県岡山市今 4 丁目 5 番 2 号	アルバイン北国販売(株)	0762-40-8111	〒 921-8066 石川県金沢市矢木 3 丁目 72 番 1 号
広島営業所	082-846-1175	〒 731-0138 広島県広島市安佐南区祇園 2-11-16	アルバイン三浦販売(株)	0593-80-0220	〒 510-0235 三重県鈴鹿市南江島 7-14
山口出張所	0839-72-6848	〒 754-0002 山口県吉敷郡小郡町大字下郷2216番地の1	アルバイン京都販売(株)	075-351-6406	〒 600-8490 京都府京都市下京区五条通 堀川東入小泉町 113 番地の 1
高松営業所	087-834-0426	〒 760-0079 香川県高松市松縄町 34 番地の 2	アルバイン兵庫販売(株)	078-681-9711	〒 652-0807 兵庫県神戸市兵庫区浜崎通 5 の 6
愛媛出張所	089-958-4707	〒 791-1104 愛媛県松山市北土居町 443-1 エクセル 121-B	アルバイン高知販売(株)	0889-84-6800	〒 780-8122 高知県高知市高須新町 3 丁目 10 番 8 号
			(株) ヴィルス	0988-66-1916	〒 900-0003 沖縄県那覇市安謝 217 番地 3

修理ご相談窓口

管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア	問い合わせ窓口	電話番号	住 所
北海道				滋賀			
青森				京都	アルバインカスタマーズサービス(株) 関西	06-6386-4130	〒 564- 0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号
岩手				大塚			
秋田				和歌山			
山形				奈良			
宮城				兵庫			
福島				岡山			
栃木				島根			
茨城	アルバインカスタマーズサービス(株) 大宮	048-664-9711	〒 330-0038 埼玉県大宮市宮原町 1-664	鳥取			
群馬				広島			
東京				山口			
神奈川				香川			
埼玉				愛媛			
千葉				徳島	アルバインカスタマーズサービス西日本(株) 福岡	092-513-1081	〒 816-0081 福岡県福岡市博多区并相田 1 丁目 12 番 22 号
新潟				高知			
長野				福岡			
山梨				佐賀			
静岡				大分			
愛知				熊本			
三重	アルバインカスタマーズサービス(株) 関西	06-6386-4130	〒 564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	長崎			
岐阜				鹿児島			
福井				宮崎			
富山				沖縄			
石川							